

# NEXO

DP3400-01a-MG

# nemo

システム管理ソフトウェア

macOS および iOS 用ユーザーマニュアル v2.1



# NEXO

nexo-sa.com

ZA du Pre de la Dame Jeanne  
60128 PLAAILLY - France

NEXO NeMo をダウンロードしていただき、ありがとうございます。本マニュアルでは、NEXO NeMo の機能を紹介し、使用方法をステップバイステップで説明します。

## 概要

NEXO NeMo は、NEXO 製品 (NXAMP および NXAMPmk2 のパワード TD コントローラー、DTD デジタル TD コントローラー) のリモートコントロール用 App です。Wi-Fi ネットワーク経由で Apple 社の iPad、iPhone、iPod Touch から、あるいは有線ネットワークまたは Wi-Fi ネットワーク経由で Mac から 1 台または複数台の NEXO 機器をコントロールできます。洗練された直感的なユーザーインターフェースから、アンプの管理と配置、アンプパラメーター (Level など) のモニタリング、および値 (プリセット、ボリューム、ディレイ、EQ など) の設定を行なえます。また、NEXO NeMo にはログ記録、アラート、メール送信を行うための強力なエンジンも付属しています。

主な機能は以下のとおりです。

- ✓ オフラインセッションの作成と編集、および NEXO 機器がオンラインになったときのマッチング (macOS のみ)
- ✓ オンラインおよびオフライン機器の高度なマッチング (macOS のみ)、およびオンライン機器の検索
- ✓ 接続された NEXO 機器の 2D での表示および配置
- ✓ カスタマイズした背景画像の追加および明度と不鮮明度の編集
- ✓ 複数機器をコントロールするための機器またはチャンネルのグループ化、およびグループとゾーンの 2D 表示
- ✓ 機器、グループ、またはゾーンのクイックミュート、クイックソロ、およびネットワーク全体のステータス (ピークやプロテクトを含む) のクイックモニタリング
- ✓ スタンダードライブラリからのセットアップの選択、およびカスタムセットアップの作成
- ✓ 複数の NEXO 機器のパラメーター (各出力チャンネルの Mute/Solo、Input level/Output level、Volume、Delay、Gain、Array EQ、Headroom など) の同時モニタリングおよび同時コントロール
- ✓ 入力チャンネルから出力チャンネルへのパッチング
- ✓ EQ とコンプレッサーの表示および編集
- ✓ シーンの保存および呼び出し (NXAMP のみ)
- ✓ すべてのコントロール手順を元に戻す/やり直し
- ✓ 1 台の NEXO 機器から複数台の NEXO 機器への、パラメーターまたはシーンのコピー/貼り付け
- ✓ セッション (.nemo ファイル) を使用したユーザー設定の保存および共有
- ✓ 異なるレベルごとに設定可能な警告方法の管理
- ✓ NeMo がオンラインの場合に記録可能な NEXO 機器の値 (温度、電圧、電流を含むすべての値) のログの表示および書き出し
- ✓ 詳細に設定可能な Live モード
- ✓ App テスト用の Demo モード
- ✓ ポートレート表示 (iPhone および iPad) およびランドスケープ表示 (iPad) での使用 Mac でのフルスクリーンでの使用

この App を使用するには、NXAMP に NXRM104、NXDT104、NXAES104、または NXES104 リモートコントロールカードを取り付けるか、ネットワーク版の DTD が必要です。また、NXES104 をリモートコントロールするには AVS-Service が必要です。サポートされる NEXO 機器の数に理論上の制限はありません。NeMo は AVS-Monitor と互換性があります。NXAMP に接続できる NeMo または AVS-Monitor は 2 台までです。DTD に接続できる NeMo は 1 台までです。

## v2.1 の新機能

- ✓ NXAMPmk2 のリモートコントロール
- ✓ NXAMP および NXAMPmk2 のシーンをファイルとして読み込み/書き出し
- ✓ macOS High Sierra および iOS 11 に完全に対応
- ✓ 機器がロックされた場合の表示を改善(機器のパスワードが変更された可能性を表示)
- ✓ オンラインセッションを 1 つだけにすることで、複数の NeMo 文書の同時操作が簡単に
- ✓ 検出、パフォーマンス、グラフィックインターフェースの改善。オフライン時に Dante ID が編集される可能性など、ディレイテキストフィールドの不具合を修正

### NEXO NeMo 使用上の注意

ライブイベント中に本 App を使用する場合は、特別な注意が必要です。特に、セーフモードをオンにする必要があります。

NEXO 機器およびコンピューター/モバイル端末は最新のファームウェアに更新し、コンピューターには最新バージョンの AVS-Service および AVS-Monitor を必要に応じてインストールしてください。

NeMo の動作状況は無線/有線ネットワークおよび AVS-Service(使用する場合)の状況に依存します。

<b>概要</b> .....	<b>2</b>
v2.1 の新機能 .....	3
<b>使用前の準備</b> .....	<b>7</b>
NEXO 対応機器 .....	7
AVS-Service .....	7
ネットワーク構成 .....	8
iOS デバイス .....	10
Mac .....	11
<b>はじめに</b> .....	<b>12</b>
新しいセッションの開始 .....	12
外観 .....	13
マッチング (macOS のみ) .....	15
<b>「Network」タブ</b> .....	<b>18</b>
機器、グループ、ゾーンのマップ .....	18
選択 .....	19
セルの配置 .....	20
機器とチャンネルのグループ化 .....	20
機器のセル .....	22
グループセル .....	23
ゾーンセル .....	23
ズームイン/ズームアウト .....	25
スクロール .....	25
マップのロック .....	25
背景画像 .....	25
クイックミュート/ソロビュー (iPad のみ) .....	26
セレクター .....	27
<b>「Recap」タブ (macOS のみ)</b> .....	<b>32</b>
機器に関する情報の表示 .....	32
チャンネルに関する情報の表示 .....	32
<b>「Control」タブ</b> .....	<b>34</b>
パラメーターの設定 .....	34
複数の値 .....	36
複数チャンネルのパラメーターの設定 .....	36
セットアップピッカー (macOS のみ) .....	37
EQ の編集 .....	37
EQ ライブラリ .....	41
コンプレッサーの編集 (DTD のみ) .....	44
シーンピッカー (macOS のみ) .....	44
コピー/貼り付け .....	45
元に戻す/やり直し .....	45
すべてのリセット .....	45

<b>「Setup」タブ .....</b>	<b>47</b>
ツールバーの表示 (iPhone ユーザーのみ) .....	47
セットアップライブラリの読み込み .....	47
NEXO セットアップおよびカスタムセットアップ .....	47
現在のセットアップ .....	47
NEXO セットアップの呼び出し .....	48
カスタムセットアップの作成 .....	48
複数の値 .....	49
不明な値 .....	49
<b>「Scene」タブ .....</b>	<b>50</b>
シーンの読み込み .....	50
現在のシーン .....	50
シーンの保存 .....	50
シーンの呼び出し .....	50
複数の値 .....	51
コピー/貼り付け .....	51
読み込み/書き出し .....	51
シーンライブラリ .....	52
シーンの削除 .....	54
<b>セッションの終了 (iOS のみ) .....</b>	<b>55</b>
<b>セッション .....</b>	<b>55</b>
「Sessions」メニュー .....	55
セッションの作成 .....	56
セッションの編集 .....	57
セッションの書き出し (iOS のみ) .....	57
セッションの書き出し (macOS のみ) .....	58
セッションの読み込み (iOS のみ) .....	58
セッションの読み込み (macOS のみ) .....	59
セッションの削除 .....	59
<b>その他の保存データ .....</b>	<b>60</b>
環境設定 .....	60
セットアップライブラリ .....	60
AVS-Service の設定 .....	62
<b>ネットワークの更新 .....</b>	<b>63</b>
<b>セキュリティ .....</b>	<b>64</b>
Live モードへの切り替え .....	64
Live モードの設定 .....	64
<b>ログ、アラート、およびタスク .....</b>	<b>65</b>
ログ .....	65
アラート、タスク、およびシステムステータス .....	71
レッドアラート .....	74

<b>エラーメッセージ .....</b>	<b>74</b>
<b>付録 A: 使用可能な NEXO 機器のパラメーター .....</b>	<b>76</b>
NXAMP .....	76
DTD .....	78

## 使用前の準備

### NEXO 対応機器

#### NXAMP

すべての NEXO NXAMP は、NXRM104 (NXAMPmk2 のみ)、NXES104、NXDT104、または NXAE104 カードを取り付け、ローカルネットワークに直接または他のネットワーク機器 (スイッチ など) を介して接続する必要があります。チェーン最上位の機器 (「プライマリマスター」という) は、拡張カードのプライマリポートまたはリモートポートを介してネットワークに接続する必要があります。

NXAMP は常に最新のファームウェアバージョンに更新しておくことをおすすめします。最新のファームウェアバージョンは <http://nexo-sa.com/software> から入手できます。

注意: NXES104 または第 1 世代の NXDT104 を取り付けた NXAMPmk2 を NeMo でコントロールする場合は機能が制限されます。NXDT104mk2 を取り付けた NXAMPmk2 は NeMo と完全に互換性があります。

#### DTD

お使いの DTD (Dante バージョンのみ) を、(無線または有線で) NeMo が接続されたローカルネットワークに接続します。

DTD は常に最新のファームウェアバージョンに更新しておくことをおすすめします。最新のファームウェアバージョンは <http://nexo-sa.com/software> から入手できます。

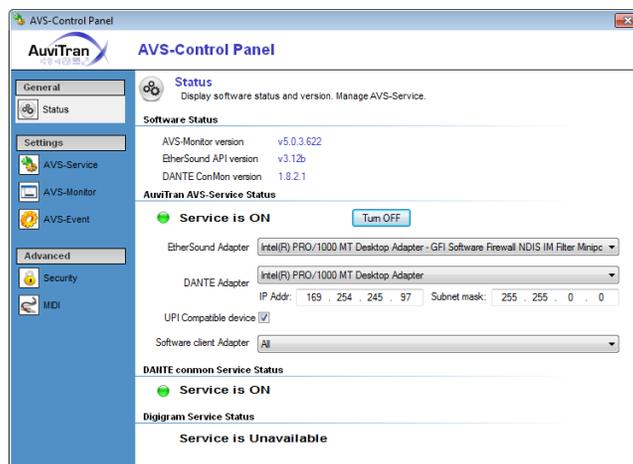
### AVS-Service

AuviTran 社の AVS-Service は、NXES104 を搭載した NXAMP および NXAMPmk2 をリモートコントロールする際に必要です。また、それ以外の場合にもオプションとして使用できます。AVS-Service はホスト PC (または Mac 上の仮想マシン) 上で実行する必要があります。以下を実行する必要があります。

1. コンピューターの Windows 上に AVS-Monitor<sup>1</sup> をインストールします。
2. Ethernet リンク (推奨、ただし Wi-Fi 接続も可能) を使用して、このコンピューターを NXAMP およびルーターのネットワークにリンクさせます。
3. 「スタート」>「すべてのプログラム」>「AuviTran」>「EtherSound Monitor」を選択して、AVS-Control Panel を起動します。

---

<sup>1</sup> AVS-Service は AVS-Monitor のダウンロードパッケージ ([www.auvitran.com](http://www.auvitran.com) から入手可能) に含まれています。



4. 「Status」タブで、適切なEtherSoundアダプターおよびDanteアダプター（NXAMPのネットワークに接続されているアダプター）を選択します。
5. 「Software client Adapter」のリストで「All」を選択します。
6. 「UPI Compatible device」をチェックします。
7. 「**Turn ON**」をクリックしてサービスを開始します。

詳細については、AVS-Service および AVS-Monitor のマニュアルを参照してください。

NeMo と AVS-Service を使用中のレイテンシーが高い場合は、以下の操作を試します。

- 「Status」タブを開き、「**Turn OFF**」をクリックしてから「**Turn ON**」をクリックします。
- 「Network timeout」および「Dante timeout」（「AVS-Service」タブ）の値を変更します（デフォルトは5 msと50 ms）。

macOS 用の NeMo から AVS-Service に接続する場合、Windows のファイアウォールを無効にした方が良い場合があります。

## ネットワーク構成

### Wi-Fi アクセスポイント(macOS 用 NeMo の場合はオプション)

Wi-Fi アクセスポイントは NEXO 機器のローカルネットワークに接続し、メーカーの指示に従って設定する必要があります。速度と堅牢性の観点で最適な構成を構築するポイントを以下に示します。

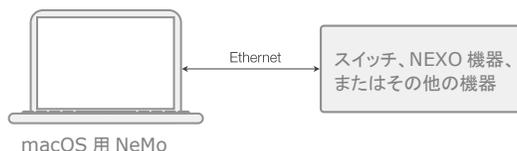
- 可能な場合は802.11n対応のルーターを選択します。すべてのモード（5 GHz帯では802.11n/a、2.4 GHz帯では802.11n/b/g）のサポートを有効にすることをおすすめします。5 GHz帯は2.4 GHz帯より干渉に強いですが、一般的に電波が届く範囲が狭くなります。帯域幅は2.4 GHz帯に20 MHz、または5 GHz帯に20/40 MHzを選択します。
- 堅牢で電波が広範囲に届くWi-Fiネットワークを構築するために、アダプティブアンテナおよびアダプティブビーム放射機能を搭載した業務用ルーター（Ruckus Wirelessなど）を使用することをおすすめします。
- 静的IPアドレスを割り当てるのではなく**DHCP**を使用します。ネットワーク内のDHCPサーバーは1台のみにします。いずれかの機器（AVS-Serviceを実行しているコンピューターなど）に静的アドレスを割り当てるには、ルーターの設定インターフェースを開きます。
- アクセスポイントのファームウェアが最新になっていることを確認します。

- 無線ネットワークに一意の SSID 名を指定します。
  - セキュリティモードは推奨の WPA2-Personal (AES)、または少なくとも WPA/WPA2 を選択します。
  - Wi-Fi アクセスポイントの Hidden network パラメーター、および MAC (Media Access Control) アドレスフィルタリングをオフにすると、アクセスポイントより上のセキュリティが保証されます。
  - 可能な場合、「Auto Channel Selection」を選択します。選択しない場合は、選択したチャンネルが、他のルーターおよび電波干渉源（電子レンジ、衛星アンテナのケーブル、電力線、その他の電気発生源、電話、ビデオ送信機、無線スピーカー、2.4/5 GHz 帯で稼働するその他の無線機器）の影響を受けないことを確認します。Wi-Fi 診断ソフトウェアを使用すると、この確認を行なえます。
  - NeMo 使用中のレイテンシーが高い場合、ルーターの再起動を試みます。
- 詳細については、ルーターのマニュアル、および Apple 社の推奨設定に関する文書<sup>2</sup>を参照してください。

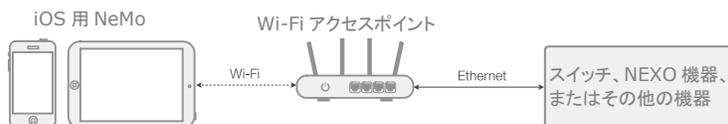
## 構成

以下の図に、最適な構成を示します。プライマリマスター機器はコンピューターに直接接続できます（コンピューターにネットワークアダプターが 2 つ取り付けられている場合）。スイッチを使用すると、プライマリマスターを複数にできます。NEXO 以外の機器（コンソール、ツールボックス、Stage Boxes など）をネットワークに接続できます。ホストコンピューター（AVS-Service を実行）と NXAMP 間に無線リンクを使用しないことをおすすめします。一般的に、オーディオネットワークと（NeMo を接続する）コントロールネットワークは分離させます。また、その他の独自ネットワーク（Lake など）の分離が必要な場合もあります。

macOS 用 NeMo を使用したシンプルな構成:

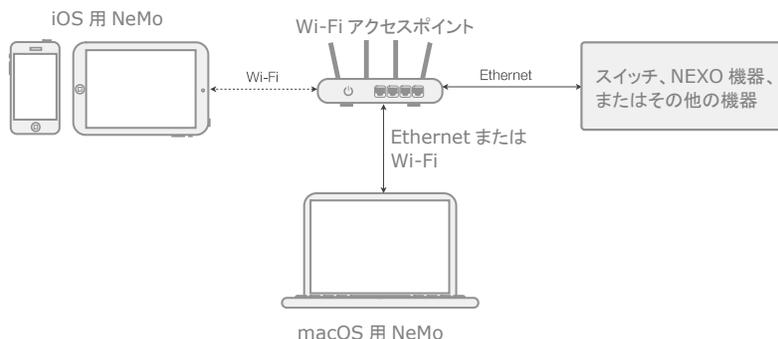


iOS 用 NeMo を使用したシンプルな構成:

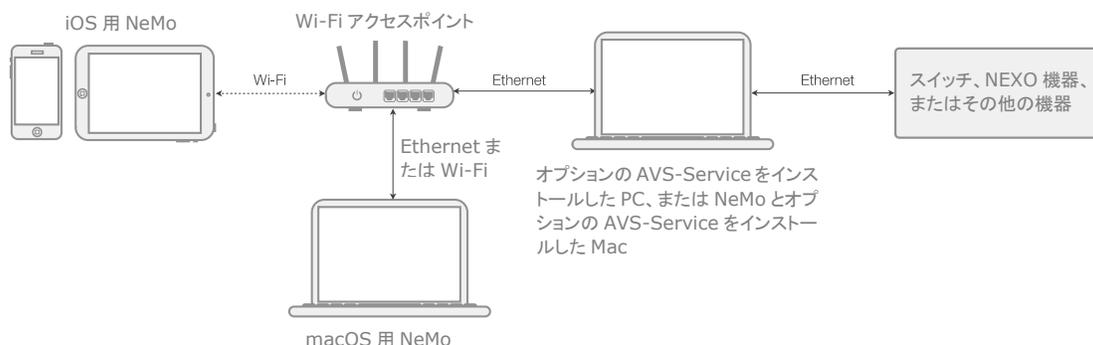


<sup>2</sup> Apple、iOS および OS X: Wi-Fi ルーターと Wi-Fi アクセスポイントの推奨設定 (<http://support.apple.com/kb/HT4199>)、iPad: Wi-Fi ネットワークに接続できない場合 (<http://support.apple.com/kb/TS3304>)、AirPort および Bluetooth: 通信を妨げる要因 (<http://support.apple.com/kb/HT1365>)。

## iOS 用 NeMo および macOS 用 NeMo を使用した推奨構成:



## AVS-Service が必要な場合の推奨構成 (NXES104 など):



## iOS デバイス

iOS デバイス (iPhone、iPod Touch、または iPad) は iOS 10 以上を搭載し、NEXO NeMo App をインストールしている必要があります。

iOS デバイスの Wi-Fi をオンにする必要があります。これを行なうには、「設定」を開きます。必要に応じて「機内モード」をオフにします。「Wi-Fi」を選択し、正しいネットワークを選択します。ネットワークがパスワードで保護されている場合は、パスワードを入力します。

静的 IP を使用している場合、**i** をタップし、「静的」を選択して、iOS デバイスの IP アドレス (最後の数字以外はルーターアドレスに類似)、サブネットマスク (通常は 255.255.255.0)、およびルーターアドレス (通常ルーターの底面に印字されているか、ルーターのセットアップ時に手動で設定済み) を入力します。ここでも、安定性が高くなる DHCP を選択することをおすすめします。

NeMo との接続が頻繁に切れる場合、「設定」>「Wi-Fi」を開き、接続するネットワークの横にある **i** をタップして、「このネットワークを削除」をタップします。上記の手順を再度行ないます。DHCP (推奨) を使用している場合、「DHCP リースを更新」をタップすると改善される場合もあります。

古い iOS デバイスで Wi-Fi 信号レベルが極端に低い場合は、Wi-Fi に関する Apple 社のテクニカルノートを参照してください。

## Mac

Mac は macOS 10.11 以上を搭載し、NEXO NeMo App をインストールしている必要があります。

「」>「システム環境設定」>「ネットワーク」の順に選択し、アクティブなネットワークサービス (Wi-Fi または Ethernet) が少なくとも 1 つあることと、IP アドレスが正しいことを確認してください。

静的アドレスではなく DHCP を使用することをおすすめします。

NeMo では、機器の検出に使用するネットワークサービスを選択できます。インスペクターの「Status」タブを開き、「Direct Control」または「AVS-Service」の近くの  を押して希望のネットワークサービスを選択します。このメニューを使用してサービスの IP マスクを確認することもできます。

### macOS 用 NeMo と iOS 用 NeMo は独立

iOS 用 NeMo を使用するために macOS 用 NeMo をインストールまたは起動する必要はありません (逆も同様です)。

オフラインモードは macOS 用 NeMo のみの搭載ですが、その他の機能はすべて App に搭載されています。

## はじめに

### ヒント: AVS-Monitor からの読み込み

AVS-Monitor のユーザーは、設定 (機器およびグループのエイリアス) を読み込み/書き込みできます。これを行なうには、「**Import from AVS-Monitor**」セクションに移動します。

## 新しいセッションの開始

### Mac ユーザーのみ

1. NeMoのアイコンをダブルクリックしてNeMoを起動します。
2. 「File」>「New」を選択して新しいセッションを作成します。新しいドキュメントウィンドウが表示されます。デフォルトではConfigモードになっています。「Demo」セッションを開く場合は、開いているウィンドウをすべて閉じてから「File」>「Open Demo Session」を選択します。
3. インスペクター  の「Status」タブを開き、「Status」セクションを見つけます。
4. 「Online」スイッチ  を使用して、オンラインとオフラインを切り替えられます。
5. オフラインの場合は機器のプロトタイプ、グループ、ゾーンを作成し、それらの設定を編集できます (後述を参照)。
6. オンラインの場合はDirect ControlまたはAVS-Serviceを使用してネットワークに接続できます。

Direct Controlを使用するには、「Enable direct control」チェックボックスをオンにします。

AVS-Serviceを使用するには、AVS-Serviceを実行しているコンピューターのIPアドレスを入力します。IPアドレスはPCのAVS-Control Panelで確認できます。

7. AVS-Serviceに接続していてAVS-Serviceへのアクセスが制限されている場合 (AVS-Control Panelの「Security」タブを参照)、ログインIDおよびパスワードの入力を求められます。

### iOS ユーザーのみ

1. AppアイコンをタップしてNeMoを起動します。
2. Direct ControlまたはAVS-Serviceを使用して接続できます。

Direct Controlを使用するには、「Use Direct Control」(バージョンによっては「Direct Control」)チェックボックスを選択します。

AVS-Serviceを使用するには、「Use AVS-Service」(バージョンによっては「AVS-Service Connection」)チェックボックスを選択します。IPアドレスの選択を求められます。これは、AVS-Serviceを実行しているホストコンピューターのネットワークアダプターのアドレスです。IPアドレスはPCのAVS-Control Panelで確認できます。

3. 開きたいセッションを選択します (「セッション」の項を参照)。NeMoを初めて起動した場合、デフォルトで空のセッションが作成されます。

4. 「**Config**」または「**Live**」をタップしてセッションを開くか、「**Demo**」をタップします。接続するまで少し時間がかかる場合があります。「**Cancel**」をタップするといつでも接続をキャンセルできます。

<b>Config モード</b>	設定モードです。すべての設定が可能です。
<b>Live モード</b>	セーフモードです。このモードは「Preferences」メニューから設定できます。設定のオフまたはオンは確定後に有効になります。「 <b>セキュリティ</b> 」の項を参照してください。
<b>Demo モード</b>	このモードはネットワーク接続なしで使用でき、仮想のアンプで App をテストできます。App の使い方を学ぶ方法として最適です。

5. AVS-Service に接続していて AVS-Service へのアクセスが制限されている場合 (AVS-Control Panel の「Security」タブを参照)、ログインIDおよびパスワードの入力を求められます。
6. 接続のステータスが表示されます。「Loading devices…」と表示されている場合、AVS-Service または Direct Control 機器との接続を確立中です。完了するまでに時間がかかる場合があります。

エラーメッセージが表示された場合、以下の原因が考えられます。

- ネットワーク接続を確立できません。このマニュアルの「**使用前の準備**」の項を参照し、問題を解決してください。
- 指定のIPアドレスが正しくありません。
- AVS-Service が正しく動作していません。

## 外観

### Mac ユーザーのみ

新しいセッションを開くと、以下のようなウィンドウが表示されます。



1つのセッションに対して開くことのできるウィンドウの数に制限はなく、セッションも必要なだけ開くことができます。各ウィンドウについて、セレクターやインスペクターを表示するかどうかや、エディターに表示するオブジェクトなどを選択できます。

3つのタブがあります。



**Network**(デフォルトのタブ): ネットワークのグローバルビューが表示されます。



**Recap**: 機器とチャンネルのグローバルビューが表示され、すばやくコントロールできます。



**Control**: 選択したオブジェクトをコントロールします(プリセット、パラメーター、EQなど)。

iOS ユーザーのみ

新しいセッションを開くと、以下のようなビューが表示されます。

ナビゲーションとツールバー。メインビュー上の多くの操作を実行できます。



App の主な機能ごとに、5つのタブがあります。



**Network**(デフォルトのタブ): ネットワークのグローバルビューが表示されます。



**Control:** 選択したオブジェクトのパラメーターをコントロールします。



**Setup:** 選択した機器のセットアップをコントロールします。



**Scene:** 選択したNXAMPのシーンをコントロールします。



**Disconnect:** セッションを閉じるのみのボタンです。

## マッチング(macOS のみ)

macOS 用 NeMo では、オフライン作業ができます。オフラインの状態で作成した機器は**プロトタイプ**と呼ばれます。オンラインのときにネットワーク上で検出された機器はそのまま**機器**と呼ばれます。

iOS 用 NeMo ではオフライン作業はできませんが、**プロトタイプ**(オンラインになったときに開いたセッションに関連付けられる)と**機器**(ネットワーク上で実際に検出された機器)は区別されます。違いは、オンライン機器がプロトタイプに自動的にマッチングされる点です(後述を参照)。

**マッチング**とは、オフラインのプロトタイプをオンライン機器に関連付ける操作です。

### 検出プロセス

機器の検出にはいくつかの段階があります。

1. NeMoによってネットワークが自動的かつ定期的にスキャンされます。
2. 新しい機器が検出されると、その機器は**初期化**されます。NeMoはその機器の基本情報を取得してコントロールを試みます。
3. 機器が初期化されると、**最初の同期**が行なわれます。コントロールを実際に開始する前に必要なすべてのパラメーター値をNeMoが取得します。
4. 同時に、検出された機器をどのように**マッチング**するかの確認が行なわれます。iOSの場合：マッチングは自動で行なわれます。プロトタイプがオンライン機器の値を取得します。
5. 「最初の同期」と「マッチング」が完了すると、機器を**コントロールできる状態**になります。

機器がNeMoに認識されていない場合、機器を**コントロールできません**。

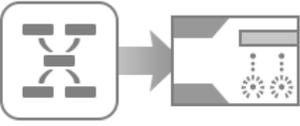
初期化または最初の同期に失敗すると、機器は**応答しません**。

### ユーザーマッチング(macOS のみ)

マッチングプロセスを容易にするために、このプロセスは NeMo によって半自動化されています。NeMo は以前の関連付けを記憶していますが、毎回ユーザーへの確認を行いません。機器が検出されると、場合に応じて以下の3つのうちいずれかが実行されます。

- 現在のセッションで機器のプロトタイプが検出されなかった場合、自動的に新しいプロトタイプを作成してその機器に関連付けます。
- 検出されたすべての機器がすでにプロトタイプに関連付けられている場合、マッチングを再確

立するかどうかの確認が行なわれます。その場合、以下のから選択します。

	<p><b>From device to prototype(デフォルト):</b></p> <p>NeMoのプロトタイプ の値はオンライン機器から取得されます。オフラインのときにプロトタイプに対して行なった設定は失われる可能性があります。オンライン機器が検出されていないプロトタイプは影響を受けません。</p>
	<p><b>From prototype to device:</b></p> <p>NeMoのプロトタイプ の値がオンライン機器に送信されます。これによりトランザクションのサイクルが始まります。機器のフロントパネルで行なった設定は失われる可能性があります。</p>
	<p><b>Custom:</b></p> <p>Custom Matcherを表示します。</p>

- 曖昧さがある場合、Custom Matcherが表示されます。

マッチング操作は取り消すことができません。

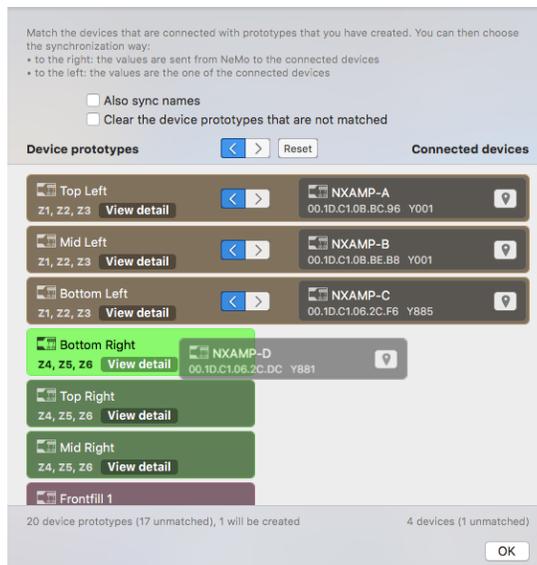
マッチング操作を確定する前に、マッチング方法が希望するものであることを確認してください。必要に応じて、NEXO 機器をお使いの他のユーザーにもマッチング操作を行なうように通知してください。

### Custom Matcher (macOS のみ)

「**Custom...**」を選択した場合、またはマッチング段階で曖昧さがある場合、Custom Matcher を使用するとプロトタイプと機器を個々にマッチングでき、マッチング方法もそれぞれ選択できます。

カスタムマッチングを実行するには、以下の手順を実行します。

1. Custom Matcherを開きます。マッチング段階が終了したら、インスペクター  の「Status」タブを開き、「Session」セクションの「**Match...**」を押してマッチングを実行します。
2. 左側には作成したプロトタイプ、右側には検出された機器が表示されます。Dante ID、名前、アドレスを指定するか、ロケートボタン  を押して機器を識別します。
3. 以下の図のように、プロトタイプ のセルを機器のセルに、または機器のセルをプロトタイプ のセルにドラッグアンドドロップします。



4. 「<|>」を押して同期方法を選択します。「OK」を押して確定するとマッチングが適用されません。
5. マッチングを元に戻すには、プロトタイプセルまたは機器セルをマッチング先のセルの外または別のセルにドラッグアンドドロップします。
6. 名前を同期するかを確認します（プロトタイプにはオンライン機器の名前が使用されます）。
7. 一致しなかったプロトタイプ（不要になった以前のネットワークのプロトタイプなど）を消去するかを確認します。
8. 「OK」を押してマッチングを確定します。

## 機器の検索

NeMo では、たとえ一致しなくてもオンラインの NEXO 機器を識別する方法があります。

NXAMP の識別は LOAD4\_00 からのみ行なえます。

NEXO 機器を識別するには、以下の手順を実行します。

1. セレクターを開きます（「**セレクター**」の項を参照）。
2. iOSユーザーのみ：いずれかのセレクターページ（グループ、ゾーン、機器、またはチャンネル）で「**Edit**」を押します。

macOSユーザーのみ：セレクターの下部で  ボタンを押して、 ボタンを表示します。

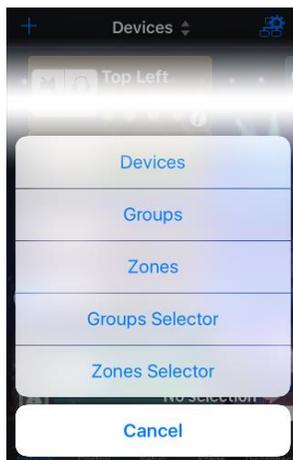
対応機器の場合、ミュートボタンがロケートボタン  に置き換わります。

3. ロケートボタンを押します。機器のフロントパネルのLEDが2秒間点滅します。

## 「NETWORK」タブ

### iPhone ユーザーのみ

「Network」タブはネットワークマップまたはセクター（「セクター」の項を参照）で構成されています。ナビゲーションバーの中央にあるボタンでビューを切り替えられます。



 をタップするとツールバーにアクセスできます。

### iPad および macOS ユーザーのみ

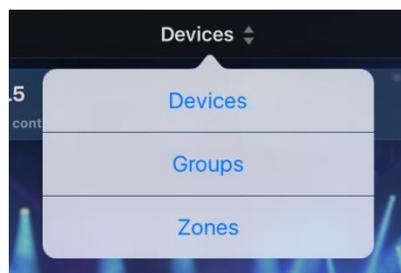
 をタップするとツールバーのいくつかのオプションにアクセスできます。

### 機器、グループ、ゾーンのマップ

マップ上に、機器、グループ、またはゾーンを表示できます。



macOS 用 NeMo でのマップの選択



iOS 用 NeMo でのマップの選択

機器	1 台の機器。オフラインで作成された機器は <b>プロトタイプ</b> と呼ばれます。機器は NeMo からコントロールできる場合と、検出のみ行なえる場合があります。
グループ	機器/プロトタイプのグループ(例: 機器 A + 機器 B)。グループを使用すると、複数の機器の表

	示や編集を一度に行なえます。また、機器を簡単に識別できるようになります(同じラックやステージの同じ側の機器など)。グループには名前と色があります。
ゾーン	チャンネル/チャンネルプロトタイプグループ(例: 機器 A のチャンネル 1 + 機器 B のチャンネル 3)。多くの場合、同じ種類のスピーカーに対応するチャンネルをグループ化する目的で使用されます。ゾーンには名前、色、番号があります。

機器のマップでは、接続されている機器およびオフラインのプロトタイプが長方形のセルで表示されます。セル間の青色のリンクは、NXES104 搭載機器(のみ)の間の物理的な接続を表わします。リンクの方向は、マスターからスレーブ側に矢印で示されます。リンクを表示または非表示にする

には、ツールバーの  または  をタップします。

グループまたはゾーンのマップでは、作成したグループまたはゾーンが長方形のセルで表示されます(グループまたはゾーンの作成方法は後述を参照)。

## 選択

機器をコントロールするには(後述のタブの項を参照)、機器またはグループの選択が必要です。選択されたセルは色が明るくなります。

### iOS 用 NeMo:

- セルをダブルタップすると、選択できます。
- セルを再度ダブルタップすると、選択解除できます。
- すべてのセルを選択するには、ツールバーの  をタップします。
- すべてのセルを選択解除するには、ツールバーの  をタップします。
- 選択したセルを確認するには、右下角の  をタップします。

### macOS 用 NeMo:

- セルをクリックすると、選択できます。
- [Shift]を押しながら別のセルをクリックすると、間にあるすべてのセルを選択できます。
- [Cmd]を押しながら別のセルをクリックすると、それまでの選択を維持したまま別のセルを選択できます。
- セルの外をクリックしてドラッグすると、囲んだ範囲内のセルを選択できます。
- セルの外をクリックすると、すべてのセルの選択を解除できます。
- [Cmd]+[A]を押すと、すべてのセルを選択できます。

グループの一部の機器のみを選択した場合、グループのセルは部分的に選択されます。その場合、斜めのストライプが付きます。

オブジェクトの選択または選択解除は、セレクターから行なうこともできます(後述の「**セレクター**」の項を参照)。

コントロールできないセルも含め、すべてのセルを選択できます。

## セルの配置

セルは自由にアレンジできます。アレンジするには、1 つまたは複数のセルを押したままドラッグします。2 つのセルを一定より近づけると、マグネット機能によってラックのようなスタックを構成できます。現実と同じような機器のアレンジを再現できます。

2 つのセルの 1 辺がぴったり合うと、完全に結合されます。この場合、1 つを動かすと、もう一方も追従します。

### iOS 用 NeMo:

セルの結合を解除するには、両方のセルに指を載せて、引き離すように動かします。

### macOS 用 NeMo:

セルの結合を解除するには、[Cmd]を押しながらセルをドラッグします。カーソルがハサミの形になります。

結合されていないセルを同時に動かすには、それらを選択する必要があります。選択したセルのうちの 1 つを動かすと、他に選択している残りのセルも同様に移動します。

複数のセルを選択したあとに、選択していない別のセルをドラッグした場合、後者のみが移動します。

マップにセルを自動配置するには、ツールバーの  をタップします。「Hierarchical tree」をタップして階層的(スレーブの上にマスターを配置、EtherSound のみ)に配置するか、「Tiles」をタップしてタイルとして配置するかを選択できます。

### ヒント: グリッドに合わせる

セルをグリッドに合わせることができます。これを行なうには、ツールバーの  をタップして、「Align on grid」をオンにします。

### ヒント: オンラインの機器とオフラインのプロトタイプを表示

NeMo がオンラインの場合、接続された機器に関連付けられていないプロトタイプを非表示にできます。これを行なうには、ツールバーの  をタップして、「Hide not connected devices」をオンにします。

## 機器とチャンネルのグループ化

グループ化は、「Network」タブでツールバー(iOS)またはセレクターの左下(macOS)の「+」をタップして表示できるグルーピングメーカーで行ないます。



### グループの作成

1. グループメーカーを開きます。iOSのみ：グループのマップまたは機器のマップから、またはグループモードの場合はセレクトターから開きます（「セレクトター」の項を参照）。
2. macOSのみ：左上角にある分割されたコントロールで「**Groups**」を選択します。
3. 「**New Group**」を選択します。
4. 名前を押すと名前を編集できます。
5. 色のアイコンを押すと色を編集できます。
6. 機器のリストで機器を選択します。オプションを使用してリストを並べ替えることもできます。

### ゾーンの作成

1. グループメーカーを開きます。iOSのみ：ゾーンのマップから、またはゾーンモードの場合はセレクトターから開きます。（「セレクトター」の項を参照）。
2. macOSのみ：左上角にある分割されたコントロールから「**Zones**」を選択します。
3. 「**New Zone**」を選択します。ゾーンの番号は、他のゾーンの中でそのゾーンがどこに配置されているかによって決まります。ゾーンを配置する方法については、「セレクトター」の項を参照してください。
4. 名前を押すと名前を編集できます。
5. 色のアイコンを押すと色を編集できます。
6. チャンネルのリストでチャンネルを選択します。オプションを使用してリストを並べ替えることもできます。

### グループまたはゾーンの編集

1. グループメーカーを開きます。
2. 左側のリストでグループまたはゾーンを選択します（MacおよびiPadのみ）。このリストを表示するには ▲ を押します（iPhoneのみ）。
3. 選択したグループまたはゾーンに属するオブジェクトが強調表示されます。
4. グループまたはゾーンのオブジェクトの追加/削除を行なうには、機器およびチャンネルのリ

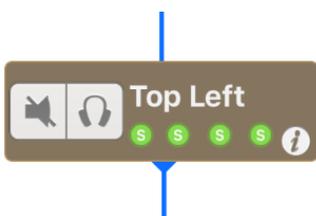
ストで対象のオブジェクトを選択するか、選択を解除します。

5. 「**Edit**」を押します (Mac および iPad のみ)。
6. 名前または色を押すと編集できます。
7. グループまたはゾーンのリストを表示するには ▲ を押します (iPhone のみ)。
8. グループまたはゾーンを削除するには ○ を押します。
9. 完了したら「**Done**」を押します (Mac および iPad のみ)。

## 機器のセル

セルにはおもて面と裏面があります (iOS のみ)。「i」を押すと、裏面を表示できます。おもて面に戻るには、「**Done**」を押します。

おもて面には以下の要素があります。



**ミュートボタン。**機器の出力音を消します(「オーバーミュート」機能はすべてのチャンネルをミュートします)。機器のミュートが実際にオンになると、ボタンが青色になります。

**ソロボタン。**ソロ以外のすべての対応機器をミュートします。ソロがオンになると、ボタンが青色になります。

機器の**エイリアス**または **Dante ID**(該当する場合)が表示されたラベル。押すと、表示を切り替えることができます。

各チャンネルのステータスを示す 4 つの LED。

LED の意味を以下に示します。

	チャンネルがミュートされています。すべての LED がオンになっている場合は、モジュールがオーバーミュートされています。
	チャンネルがプロテクションモードになっています。4 つの LED がオンになっている場合は、機器がプロテクションモードになっています。
	チャンネルがピークリミッターモードになっています。
	チャンネルに電流が流れています。
	デフォルトの状態です。
	複数の値(たとえば、アンプ A のチャンネル 1 とアンプ B のチャンネル 1 の LED で、1 つめがミュートされていて、2 つめがミュートされていない場合。センスやピークも同様)がある場合、LED の周りがオレンジ色の枠で囲まれます。

**備考:** コントロールできない機器の場合、または機器が応答していない場合、LED およびミュート/ソロボタンはオンになりません。機器がスタンバイモードであるか応答していない場合、ボタンをタップして起動できます。

### 裏面には以下の要素があります(iOSのみ)。

- 機器のエイリアス。デフォルトでは製品のタイプと MAC アドレスの末尾が表示されます。AVS-Monitor または NeMo でエイリアスを変更しても、新しい名前は反映されません。フィールドをタップして編集し、終了したら「Done」をタップします。
- アンプの MAC アドレス(機器のネットワークカードに記載されている場合があります)。
- アンプのロード(ファームウェアおよびセットアップライブラリのバージョン)。
- 現在のセットアップ。番号または名前で示されます(ライブラリがロードされている場合)。
- NXDT104、NXAE104、または NXES104 カードが機器に取り付けられているかを示すアイコン。NXDT104 カードの場合、Dante ID が表示されます。

NeMo でコントロールできる機器以外のセルは、エイリアスのみが表示されます。

### グループセル

グループセルには 3 つのペインがあります。



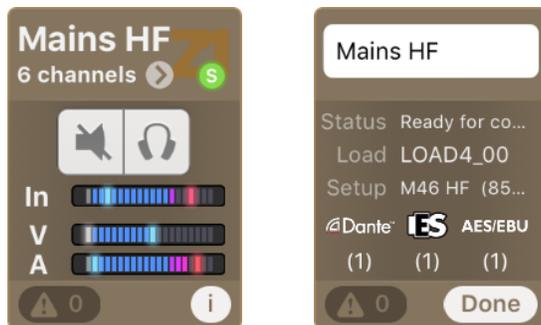
<b>In</b>	グループの機器の入カレベルをモニタリングできます。グループ内の機器の最大入力レベルが表示されます。
<b>Out</b>	グループの NXAMP のプロセッシングチャンネルの出力電流と電圧、または DTD の場合の出力レベルと圧縮レベルをモニタリングできます。この場合も、グループ内の機器の最大レベルが表示されます。(VU メーター)
<b>i</b>	グループの詳細(セットアップ、ロード、拡張カードの種類)の表示、および名前の変更を行なえます(macOS: 右クリックして「Rename」を選択します)。

またボタンが 2 つあります。

	このボタンを押すと、グループの「Recap」(要約)ビューが表示されます(「クイックミュート/ソロビュー」の項を参照)。
	このボタンを押すと、「Events」メニューが表示され、そのグループに関するアラートのみがフィルターされて表示されます(「アラートおよびタスク」の項を参照)。

### ゾーンセル

ゾーンセルには 2 つのペインがあります。

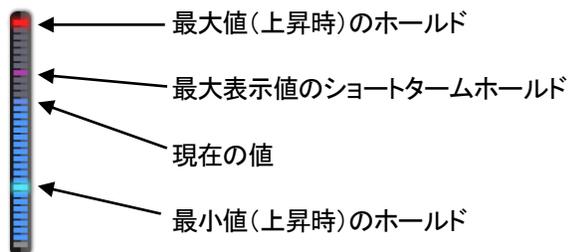


<p><b>「In」と「Out」</b></p>	<p>このゾーンに属するチャンネルの入出力レベルをモニタリングできます。出力電流および電圧も表示されます。表示されるレベルは最大値です。このペインからゾーンのチャンネルをミュート/ソロにすることもできます。</p>
<p><b>i</b></p>	<p>ゾーンの詳細（セットアップ、ロード、拡張カードの種類）の表示、および名前の変更を行なえます（Mac: 名前を編集するには名前をダブルクリックします）。</p>

さらに、グループセルと同じ 2 つのボタンがあります（上記の右側を参照）。

**VU メーター**

VU メーターには以下の値が表示されます。



ホールド値をリセットするには、いずれかの VU メーター上をタップします。

### 重要: レイテンシー

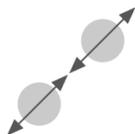
無線ネットワークにはレイテンシーが発生し、AVS-Serviceには負荷がかかることから、コマンドを実行しても、リモートのNEXO機器にはすぐに適用されません。たとえば、ミュートボタンをタップしてからLEDが実際に青色になるまで0.5秒かかることは珍しくありません。

表示される値は期待値です。

トランザクションが進行している間(パラメーターの値が機器に送信および処理されている間)、アクティビティインジケータがメインビューの左下角に表示されます。このインジケータは、ネットワーク更新に通常より長い時間かかった場合(5秒以上)にも表示されます。

トランザクションが終了すると、インジケータが非表示になります。トランザクションに失敗すると、「Events」メニューにアラートが表示されます(「アラート、タスク、およびシステムステータス」の項を参照)。

### ズームイン/ズームアウト



iOS デバイスの画面上または Mac のトラックパッド上で 2 本の指を近づけたり(ズームアウト)、広げたり(ズームイン)することで、メインビューの表示倍率を変更できます。表示倍率をリセットするには、セル以外の場所をダブルタップします。

表示倍率の変更はツールバーでも行なえます(macOS のみ)。各マップの表示倍率は独立しており、自動的に保存されます。

### スクロール

iOS のみ: メインビューをスクロールして見えていないセルを表示するには、画面上(セル以外の場所)で指をドラッグします。編集モード(📷 をタップ)で背景画像が大きすぎる場合、2 本の指を使用してスクロールできます。

### マップのロック

ツールバーの🔒 をタップすると、機器またはグループのマップをロックできます。ロック解除するには🔒 を再度タップします。マップをロックすると、セルを動かせなくなります。

### 背景画像

背景画像を追加できます。たとえば、iOS デバイス内蔵のカメラを使用してステージや NXAMP ラックの写真を撮って NeMo に背景画像として読み込み、実際の配置に近づけてセルを配置できます。

背景画像はすべてのマップで同じになります(機器やグループなど)。



## 背景画像の追加

背景画像を追加するには、以下の手順を実行します。

10. ツールバーの  を押して、画像編集モードにします。セルはグレー表示されます。編集モードでもスクロール(指2本)したりズームインしたりできます。
11. 「+」を押して画像を読み込みます。
12. 画像のサイズを変更するには、 を押してドラッグします。
13. 画像を移動させるには、画像を押してドラッグします。
14. 画像を削除するには、 をタップします。
15. 画像をダブルクリックすると、明るさと不鮮明度を編集するパネルを表示できます(macOSのみ)。
16. 「Done」をタップして、画像編集モードを終了します。セルの表示が元に戻り、画像が背景として表示されます。
17. 他の画像を追加するには、上記の操作を繰り返します。

## 背景画像の編集

背景画像を編集するには、ツールバーの  を押して画像編集モードにし、必要に応じて前述の手順の 3~5 を実行します。

複数の画像を配置した場合、ドラッグしている画像が自動的に最前面になります。画像を前面にしたい場合は、その画像を少しドラッグするか、右クリックで表示されるメニューを使用します(Macのみ)。

完了したら「Done」をタップします。

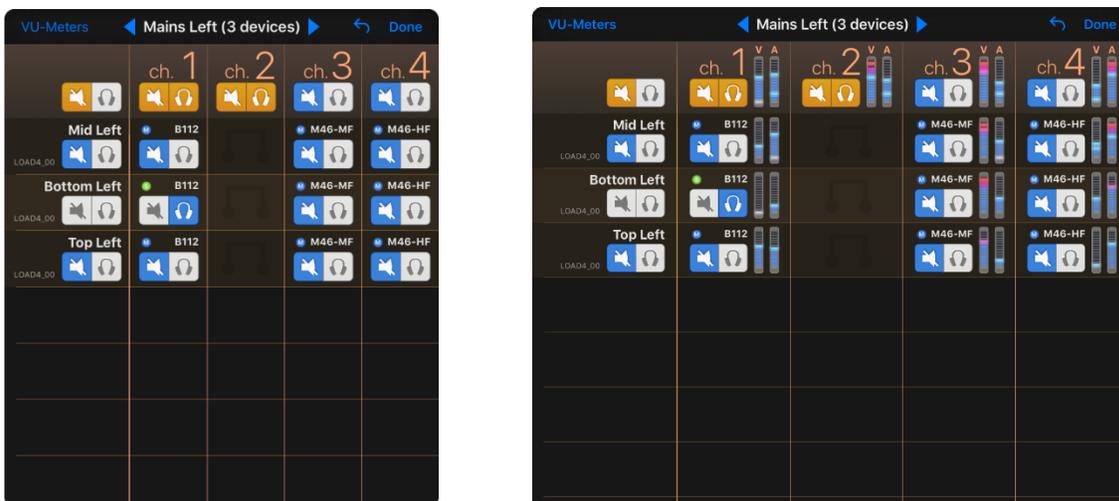
## クイックミュート/ソロビュー(iPadのみ)

チャンネルおよび機器をミュートまたはソロにするには複数の方法があります。

- ネットワークマップでセルの「Mute/Solo」コントロールを使用する

- セレクターを使用する(後述を参照)
- 現在選択されている機器またはチャンネルの「Control」タブを使用する
- クイックミュート/ソロビューを使用する

クイックミュート/ソロビューにアクセスするには、グループまたはゾーンのマップで  をタップします。以下のシートが表示されます。



ここで、たとえば個々のチャンネル、グループ全体の指定のチャンネル、機器をミュート/ソロできます。「Done」をタップすると、クイックミュート/ソロビューが閉じます。

「VU-Meters」をタップすると、VU メーターの表示または非表示を切り替えられます。

ソロは「インプレース」または「排他」で実行できます。「ヒント: 排他ソロ」の項を参照してください。

## セレクター

Mac および iPad のみ

このメニューは、すべてのタブからナビゲーションバーの左側にある「Selector...」ボタン/  を使用して表示できます。

iPhone のみ

「Groups & devices」メニューは「Network」タブから表示できます。

セレクターにはグループとゾーンという 2 つのモードがあります。これらの 2 つのモードを切り替えるには、分割されたコントロール「Groups|Zones」(Mac および iPad)を使用するか、ナビゲーションバーのタイトル(iPhone)を押します。

作成したすべてのグループまたはゾーンと特定のグループ「All devices」、または特定のゾーン「All channels」がリストに表示されます。このグループおよびゾーンは名前を変更したり削除したりできません。

グループまたはゾーンごとに、そのグループのすべての機器、またはそのゾーンのチャンネルに適用されるミュート/ソロボタンがあります。 を押すと、グループまたはゾーンの詳細が表示されます。リストの対応機器またはチャンネルにはそれぞれミュート/ソロボタンと、チャンネルステータス LED (iOS、「機器のセル」の項を参照) またはステータステキスト (macOS) があります。

グループ、ゾーン、機器、またはチャンネルを選択するには、それぞれの行を押します。グループを選択するとそのグループのすべての機器が選択され、ゾーンを選択するとそのグループのすべてのチャンネルが選択されます。選択した行は青色になります。オフラインの場合、行は赤または半透明です。

### デバイスの追加 (macOS のみ)

1. セレクター下部の「+」ボタンを押します。「**Add device prototypes...**」を選択します。
2. 表示されるモーダルシートで、作成する機器の製品、名前、番号、および必要な場合は作成したデバイスを追加するグループを選択します。確定します。
3. オンラインの場合は Custom Matcher が表示されるので、作成した機器のプロトタイプをオンラインの機器に関連付けます。

### グループまたはゾーンの編集

iOS ユーザーのみ:

1. セレクターの「Groups」または「Zones」メニューで、「**Edit**」を押します。
2. 名前をタップすると、名前を変更できます。キーボードが表示されます。名前を編集して確定します。
3. 行の  の部分をタップしてドラッグすると、順序を変更できます。
4.  をタップしてから「**Delete**」をタップすると、削除できます。編集ビューを表示していないときに、行を左にスワイプして削除することもできます。「**Delete**」ボタンが表示されます。
5.  をタップしてグループまたはゾーンを作成したり、グループまたはゾーンの内容を編集したりできます（「機器とチャンネルのグループ化」の項を参照）
6. 完了したら「**Done**」をタップします。

macOS ユーザーのみ:

1. グループまたはゾーンの行をダブルクリックすると名前を変更できます。
2. [Cmd] または [Shift] を押したままクリックすると複数のグループまたはゾーンを選択できます。
3. 1つまたは複数のグループまたはゾーンを選択してキーボードのバックスペースキーを押すと削除できます。
4. 1つまたは複数のグループまたはゾーンを選択してドラッグすると順序を変更できます。
5. セレクター下部の「+」ボタンを押すと、グループおよびゾーンの内容を追加したり編集したりできます（「機器とチャンネルのグループ化」の項を参照）。
6. グループまたはゾーンのリストを右クリックして並べ替えオプションを選択すると、自動的に並べ替えることができます。新しい順序は保存されます。

**備考 1:** 「All devices」グループおよび「All channels」ゾーンを削除したり並べ替えたりすることはできません。

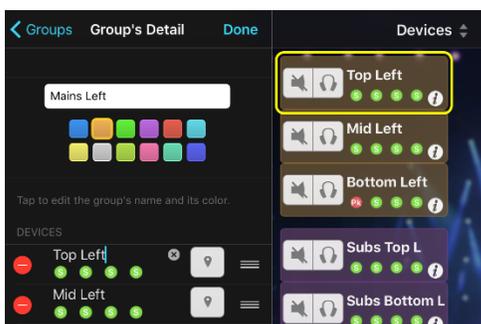
**備考 2:** ゾーンの並べ替えはゾーンの番号を変更する唯一の方法です。

**備考 3:** 上記の操作は元に戻すことができます(「Edit」>「Undo」または[Cmd]+[z])。

## グループまたはゾーンの編集

iOS ユーザーのみ:

1. セレクターの「Groups」または「Zones」メニューで、グループまたはゾーンの行の ⓘ をタップするとその内容が表示されます。
2. 「Edit」をタップします。編集ビューが表示されます。



3. リストの一番上にあるフィールドをタップすると、名前を変更できます。
4. 色のリストから希望の色を選択して色を変更できます。
5. グループの機器の名前をタップすると、その機器名を変更できます。iPadの「Network」タブでは、編集した機器が、ネットワークマップで枠を囲まれて表示されます。チャンネル名は編集できません。
6. 行の ≡ の部分をタップしてドラッグすると、グループの機器の順序を変更できます。ゾーンのチャンネルを並べ替えることはできません。
7. − をタップしてから「Delete」をタップすると、グループまたはゾーンから機器またはチャンネルを削除できます。編集ビューを表示していないときに、行を左にスワイプして削除することもできます。「Delete」ボタンが表示されます。オフラインのプロトタイプは、「All Devices」グループから削除することで完全に削除できます。
8. グループまたはゾーンの内容を編集するには、+ をタップしてグルーピングメーカーを表示します(「機器とチャンネルのグループ化」の項を参照)。
9. 完了したら「Done」をタップします。
10. 「<Groups」をタップして「Groups」メニューに戻ります。

macOS ユーザーのみ:

1. セレクターの「Groups」または「Zones」メニューで、⌘ を押してグループまたはゾーンの内容を表示します。
2. リストの一番上にあるテキストフィールドを編集することで、グループまたはゾーンの名前を変

更できます。

3. 色のアイコンを押してリストから希望の色を選択すると、色を変更できます。
4. グループの機器の名前をダブルクリックすると、その機器名を変更できます。チャンネル名は編集できません。
5. 機器とチャンネルは、ドラッグして並べ替えることができます。また、右クリックして並べ替えオプションを選択することもできます。
6. キーボードのバックスペースキーを押すと機器またはチャンネルを削除できます。また、右クリックして「Remove…」を選択することもできます。オフラインのプロトタイプは、「**All Devices**」グループから削除することで完全に削除できます。
7. セレクター下部の「+」を押して「Edit the group…」または「Edit the zone…」を選択すると、グループまたはゾーンの内容を編集できます。グルーピングメーカーが表示されます（「機器とチャンネルのグループ化」の項を参照）。

**備考:** 「**All devices**」グループから機器を削除できるのは、この機器が接続されていないか、NeMo がオフラインのときのみです。「**All channels**」ゾーンからチャンネルを削除することはできません。デフォルトでは、このグループおよびゾーンは Dante ID(該当する場合)およびエイリアス(それ以外の場合)でソートされます。

### 接続されていない機器

グループおよびゾーンはセッションの間は保持されます。そのため、現在のセッションで接続されていない機器がグループに含まれる可能性があります(これらの機器は**機器なしのプロトタイプ**といます)。

iOS のみ:

このようなグループは、 アイコン付きで表示されます。

接続機器なしのプロトタイプを表示するには、機器のリストのフッター(警告アイコンが表示されている場所)をタップします。表示されても、グレー表示されて選択できません。フッターを再度タップすると非表示になります。

「Preferences」を開き、接続されていない機器の表示/非表示を選択することもできます。

Mac のみ:

「View」>「Hide Not Connected Device」のチェックをオン/オフにすることで、機器なしのプロトタイプの表示/非表示を選択できます。

**重要: 規則**

ボタン、スライダー、またはアレイのセルが**オレンジ色**の場合、「複数の値」が含まれていることを意味します。以下に例を示します。

例 1:



この場合、グループ「Mains Right」には、ミュートされている機器とミュートされていない機器があります。

例 2:



このスライダーが、選択した 2 台の NXAMP のチャンネル 1 のゲインをコントロールする場合、緑色は 2 つのチャンネル 1 の値が異なることを意味します (たとえば、一方が  $-2\text{dB}$  でもう一方が  $+3.5\text{dB}$ )。スライダーにはそれぞれの異なる値のマークが表示され、つまみは**平均**を示します。

VU メーターの場合、表示された値は、複数の値の**最大値**を示します。

**重要: 選択した機器**

以降のタブでは、セレクターまたは「Network」タブで選択した機器またはチャンネルをコントロールします。設定を行なう前に、コントロールしたい機器を正しく選択していることを確認してください。

ビューのタイトルは、選択されている内容の識別に役立ちます (グループ 1: デバイス A、デバイス B など)。

選択した機器がコントロール不可の場合、または応答していない場合、その機器にはコントロールが反映されません。

選択したオブジェクトを確認する最も簡単な方法は、セレクター (iPad および Mac のすべてのタブまたは iPhone の「**Network**」タブから開けます) を表示して、「**All devices**」または「**All channels**」、あるいは選択したグループまたはゾーン内を確認します。

## 「RECAP」タブ (MACOS のみ)



「Recap」タブ  を開きます。メインビューには、選択した機器 (行) とその機器のチャンネル (列) のリストが表示されます。

機器とチャンネルは、それらが属するグループまたはゾーンに応じて色分けされます。

「Recap」(要約)ビューは、主にシステムの点検 (チャンネルのミュート/ソロを利用)、プリセットと設定の確認、およびレベルのモニタリングを行なうために設計されています。そのため、グループ、ゾーン、機器名などの編集には使用できません。これらの編集については、「セクター」および「**Control**」タブの項を参照してください。

### 機器に関する情報の表示

機器名のすぐ下にある詳細ラベルをクリックすると、ファームウェアバージョン、IP、Dante ID、機器の Mac アドレス (該当する場合) が順次表示されます。



 をクリックし、「Device」セクションで各オプションを選択または選択解除します。

<b>Inputs</b>	機器の入力レベルを表示します。
<b>Preprocessing patch</b>	プリプロセッシングチャンネルの Inpatch を表示します (DTD)。
<b>Preprocessing input</b>	プリプロセッシングチャンネルの EQ を表示します (DTD)。
<b>グループ</b>	機器が属するグループを表示します。

### チャンネルに関する情報の表示



 をクリックし、「Processing Channel」セクションで各オプションを選択または選択解除します。

<b>State, mute/solo and patch</b>	チャンネルの LED、ミュート/ソロボタン (該当する場合)、Inpatch を表示します。
<b>State, mute/solo and setup</b>	チャンネルの LED、ミュート/ソロボタン (該当する場合)、プリセットを表示します。
<b>Outputs</b>	出力の VU メーターを表示します (NXAMP の電圧と電流、DTD の出力レベルと圧縮レベル)。
<b>Setup</b>	チャンネルのプリセットを表示します。
<b>Settings</b>	チャンネルの設定を表示します (ボリューム、ディレイ、ゲイン、ヘッドルーム、アレイ

	EQ)。
<b>EQ</b>	EQ のサムネイルを表示します。
<b>Compressor</b>	コンプレッサーのサムネイルを表示します。
<b>Zones</b>	機器が属するゾーンを表示します。

**ヒント: 排他ソロ**

ソロが排他の場合、一度にソロにできるチャンネルは 1 つのみです。それ以外の場合、ソロは累積されます (ソロインプレース)。つまり、チャンネルまたは機器のソロを選択すると、ソロオブジェクトのリストにそれらが追加されます。

ソロを排他的に実行するかどうかは、「Preferences」で選択できます。

## 「CONTROL」タブ

「Control」タブをタップします。メインビューは、選択した機器またはチャンネルのパラメーターをモニタリングしたりコントロールしたりする場所です（「重要： 選択した機器」の項を参照）。

ランドスケープ表示の場合： 入力およびプリプロセッシングチャンネルが左側、プロセッシングチャンネルが右側に表示されます。

ポートレート表示の場合： 入力およびプリプロセッシングチャンネルが上側、プロセッシングチャンネルが下側に表示されます。

各チャンネルには 1 つまたは 2 つの VU メーター、NXAMP の電流(A)または電圧(V)、DTD の出力レベルと圧縮が関連付けられます。

機器(またはグループ)あるいはチャンネル(またはゾーン)が選択されているかどうかで表示が異なります。これらの 2 つのモードはグループモードとゾーンモードと呼ばれます。

### パラメーターの設定

iPhone ユーザーのみ：

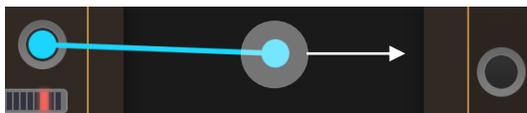
グループモードの場合、チャンネルのパラメーター (Gain、Volume、Delay など) は、メインビューからは設定できません。チャンネルビューにアクセスするには、チャンネル (同時にコントロールする場合は複数のチャンネル) をタップします。新しく表示されるビューのタイトルで、選択したチャンネルがわかります。戻るボタンをタップすると、メインビューに戻ります。

変更を行なう前に、コントロールしたいチャンネルを正しく選択していることを確認してください。

### Patch

グループモードの iOS のみ：

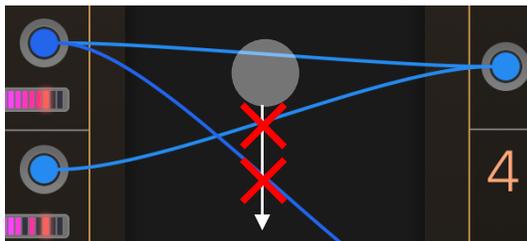
入力をプロセッシングチャンネルへリンクさせるには、一方から他方へ指をドラッグします。



リンクを解除するには、入力からプロセッシングチャンネルまたはその反対に再度ドラッグします。



複数のリンクを交差するように指をドラッグして、リンクを解除することもできます。



iPad、Mac、またはゾーンモードのみ:

パッチがない場合は、「in」または「No in」アイコンが表示されます。パッチがある場合は、パッチが適用される入力の入力文字がついたアイコンが表示されます(「A|B」など)。パッチを編集するには、このアイコンを押し、表示されるリストから対象の入力を選択します。

### Gain、Array EQ、Headroom、Volume

スライダーのつまみを押し、左右に動かします。スライダーの値がその横に表示されます。スライダーには高速ジェスチャーに対する誤操作防止機能があります。スライダーの分解能は、スライダーと指/マウスカーソルの間の距離に応じて変わります。スライダーから遠いほど分解能が細かくなります。

**備考:** スライダーの値を変更したときに別の値も変わる場合、それら 2 つのチャンネルは現在のセットアップでブリッジ接続されているか、両方のチャンネルが選択されています。

### Delay、Delay unit

ディレイ値が表示されているフィールドを押します。値を編集して確定します。

◀ ボタンを押し、左右にドラッグしてディレイ値を増減させることもできます。この場合も、指/マウスカーソルが遠いほど分解能が細かくなります。

ディレイはミリ秒、メートル、またはフィート単位で表示できます。単位が表示されているボタンを連続でタップすると、「ms」、「m」、「ft」、「ms」の順に切り替わります。ディレイの単位は App 全体で同じになります。

### オーバーミュート/ソロ(グループモードのみ)

「機器のセル」の項を参照してください。このボタンはナビゲーションバーの右側にあります。選択した機器のすべてのチャンネルをミュートまたはソロにできます。チャンネルのミュートステータスは保持されます。選択した機器のすべてのチャンネルをミュートする場合は、グローバルミュート(オーバーミュート)ボタンを押します。

### Mute / Solo

このボタンをタップすると、チャンネルがミュートまたはソロになります。オーバーミュート/ソロボタンとの相関性はありません(オーバーミュートが選択されている場合でも選択または選択解除できます)。

### Stand-by



をタップすると、選択した機器がシャットダウンされます。選択した機器のいずれかがスタンバイモードの場合、他のすべてのパラメーターが設定不可になります。

### Cabinet

iOS のみ:

読み取り専用の値です。この値を設定するには「Setup」タブを開きます。

macOS のみ:

選択したチャンネルのプリセットを編集するにはキャビネット名を押します。または、グループモード

で一番上のバーのプリセット名を押すと、選択した機器のすべてのチャンネルのプリセットを編集できます。

## 複数の値

複数の機器を選択している場合のチャンネルは、選択した機器すべてのそのチャンネルを表わします。そのため、複数の値が存在する可能性があります。たとえば、選択した1台のNXAMPのチャンネル2がミュートされているときに、別の選択NXAMPのチャンネル2がミュートされていない場合です。複数の値は以下のとおり表示されます。

- **Patch:** リンクがオレンジ色になります。オレンジ色のリンクに沿って指/マウスでドラッグすると、リンクが削除されます。
- **Gain、Array EQ、Headroom、Volume:** スライダーがオレンジ色になります。表示されている値は平均値です。スライダーを任意の値まで動かすと、Absoluteモードがオンの場合はすべての値がスライダーの値に設定され、Relativeモードがオンの場合は、個々の値が同じ量だけ増減されます。
- **Delay:** 「Mult.」と表示されます。新しい値を設定すると、すべての値がそのテキストフィールドの値に設定されます。複数の値がある場合に指/マウスでドラッグしたときの動作は、GainやArray EQなどと同じになります。
- **Mute-Solo、Overmute-solo、Stand-by:** 各ボタンがオレンジ色になります。緑色のボタンをタップすると、ボタンが選択されます。たとえば、がになります。「Stand-by」の値が複数ある場合、他の設定にはアクセスできません。
- **VU-meter:** VUメーターには最大値が表示されますが、色は通常と同じです。
- **Cabinet:** 値「Multiple」が表示されます。キャビネットまたはそのファミリーが共通の場合、それらが個々に表示されます。

## 複数チャンネルのパラメーターの設定

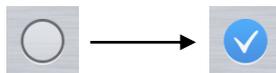
グループモードの場合、複数のチャンネルの特定のパラメーターの値(Gain や Delay など)を同時に変更できます。

iPhoneユーザーのみ:

複数のチャンネルのパラメーターの値を同時に変更するには、前述(「**パラメーターの設定**」の項)のとおり、それらのチャンネルを選択します。変更は絶対的または相対的に行なえます。

MacおよびiPadユーザーのみ:

チャンネルのチェックボックスをタップすると、同時に編集できます。



**ヒント:** iPad では、チャンネルのチェックボックスを押して別のチャンネルのチェックボックスにドラッグすると、複数のチャンネルを選択または選択解除できます。

Mac では、チャンネルのチェックボックスを長押しするとすべてのチャンネルを同時に選択または選択解除できます。

## 絶対的または相対的

「**Abs.**」|**Rel.**」ボタンを使用して、変更を絶対的(「**Abs.**」)にするか、相対的(「**Rel.**」)にするかを選択できます。

- 「**Abs.**」を選択した場合、選択したチャンネルのパラメーター(Volumeなど)を変更すると、他の選択チャンネルのパラメーターもその値に設定されます。たとえば、選択したチャンネルのボリュームスライダーを-6に動かすと、選択したすべてのチャンネルのボリュームが-6 dBに設定されます。
- 「**Rel.**」を選択した場合、選択したチャンネルのパラメーター(Volumeなど)を変更すると、他の選択チャンネルのパラメーターも同じ量だけ増減します。たとえば、ゲインがそれぞれ-1 dBと-6 dBのチャンネル1および2を選択して、チャンネル1のゲインを+2 dBに動かした場合、チャンネル2のゲインが-3 dB(3 dB増加)に設定されます。スライダーを動かしている間は、追加された値が表示されます。

## セットアップピッカー(macOSのみ)

機器またはチャンネルのプリセットを押すと、セットアップピッカーがポップオーバーで表示されます。

セットアップピッカーの上部には、選択したオブジェクトの現在のプリセットの名前と画像が表示されます。グループモードでは、選択した機器のチャンネルの数だけ名前と画像が表示されます(例: NXAMP では 4 つ)。

下部にはセットアップライブラリが表示されます。NXAMP では、「**NEXO**」と「**Custom**」という 2 つのライブラリを使用できます。選択した NXAMP の 4 チャンネルのセットアップを呼び出すには、「**NEXO**」を選択します。キャビネット、クロスオーバー、ブリッジモードを選択して、選択したチャンネルを呼び出すには「**Custom**」を選択します。DTD で使用できるのは「**Custom**」のみです。

プリセットを呼び出すには、以下の手順を実行します。

1. セットアップピッカーの上部で、プリセットを編集するオブジェクトの名前または画像を押します。
2. 「**NEXO**」または「**Custom**」を押して、選択したライブラリを表示します。
3. NEXOセットアップまたはカスタムシリーズ、キャビネット、モード、クロスオーバーのリストが表示されるので、必要な項目を選択します。検索フィールドを使用すると、目的のセットアップを番号やシリーズ/キャビネット名ですばやく見つけることができます。
4. 必要に応じてブリッジのチェックボックスを選択または選択解除します(「**Custom**」を選択した場合のみ)。
5. 「**Recall**」を押して確定します。

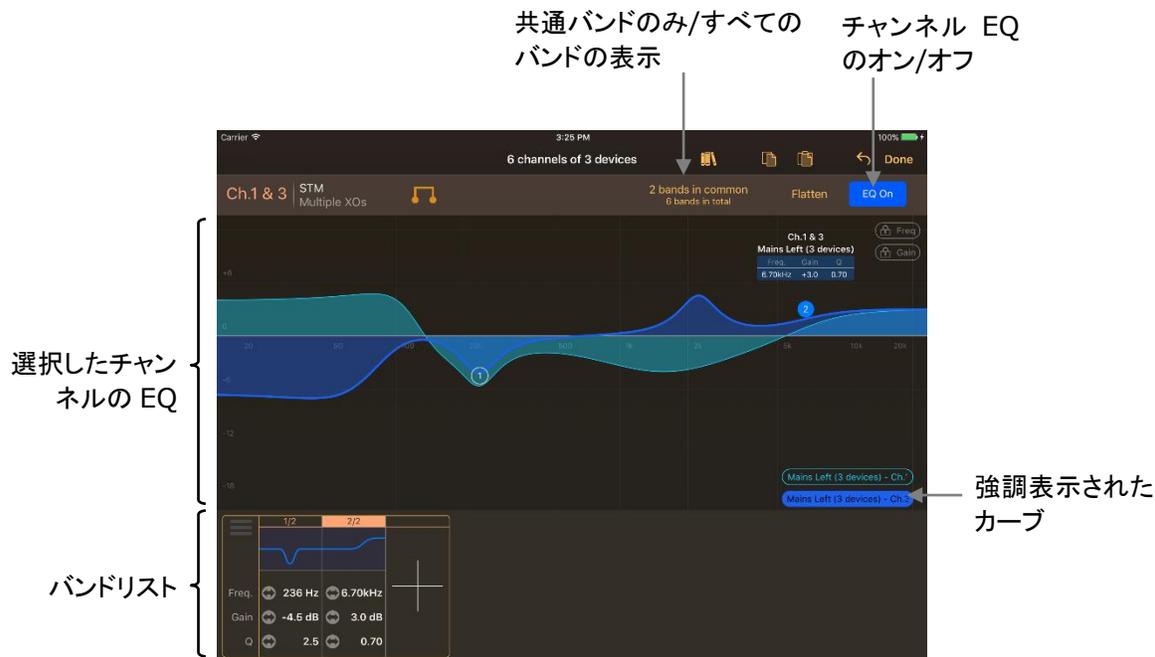
## EQ の編集

### 警告

EQ 編集機能は、NXAMP に LOAD4\_00 以上がインストールされている場合にのみ使用できます。DTD では、プリプロセッシングチャンネル上にユーザーEQ もあります。

EQ はチャンネルストリップからプレビューできます。

虫めがねアイコンをタップすると、EQ 編集ビューが開きます。



### EQ の表示

選択したチャンネルの EQ は、画面の中央部分に表示されます。EQ が異なる複数の機器または複数のチャンネルを選択している場合、それぞれのカーブが表示されます。右下角のボタンを使用して、個別の EQ を強調表示できます。

#### iPhone ユーザーのみ:

画面の幅が小さいため、EQ ビューが 2 つまたは 3 つに分割されます。タップしたまま左右にスライドして、目的の周波数帯域を表示させます。スクロール中は、EQ 全体のプレビューが表示されます。

#### iPad ユーザーのみ:

 を下にスライドすると、下部のパート(バンド詳細)を非表示にして、EQ のフルスクリーン編集を行なえます。

### バンドの追加

1. 選択されているチャンネルが正しいことを確認します。
2. EQビューの任意の場所をダブルタップします。バンドのタイプは、以下のとおり自動的に選択されます。

ダブルタップ位置の周波数	ダブルタップ位置のゲイン	バンドのタイプ
100 Hz 未満	-2 dB 超、2 dB 未満	FLAT の場合はハイパス、それ以外はローシェルフ
100 Hz 未満	-	ローシェルフ
5 kHz 超	-2 dB 超、2 dB 未満	FLAT の場合はローパス、それ以外はハイシェルフ

5 kHz 超	-	ハイシェルフ
-	-	ピーキング

バンドリスト内の「+」をタップして追加することもできます。その場合のタイプはピーキングになります。

## バンドの編集

- 1つまたは複数のチャンネルを選択します。異なるEQに共通のバンドは編集可能です(丸で囲まれた数字が表示されます)。
- 選択したチャンネルに共通でないバンドを編集するには、「**xxx bands in common**」を押します。ボタンが「**yyy bands in total**」に変わります。



選択は同じですが、すべてのバンドが表示されます。

3. 編集するバンドの丸数字をドラッグして、周波数およびゲインを変更します。バンドは周波数で常にソートされるため、バンドの番号は編集集中に変わることがあります。
4. 丸数字を押してバンドを選択します(丸が白抜きになります)。指でピンチするかマウスホイールを使用してQまたはスロープを変更します。
5. 周波数、ゲイン、およびQを編集するとき、「**freq**」および/または「**gain**」を押して、周波数および/またはゲインをロックできます。
6. バンドリスト内の周波数、ゲイン、Q、またはスロープのテキストフィールド上を指またはマウスでドラッグして、それらを編集することもできます(分解能はテキストフィールドからの距離に応じて細くなります)。
7. バンドのタイプを変更するには、バンドの丸数字を指で長押しするか右クリックしてコンテキストメニューを表示します。このメニューは、バンドリストのプレビューアイコンをクリックしてから小さい三角形をタップしても表示できます。



## バンドの削除

バンドを削除するには、コンテキストメニューを表示し(前の項の手順7を参照)、ごみ箱アイコンまたは「Remove the band」を押します。

すべてのバンドを一度に削除するには、「**Flatten**」をタップします。

## バンドのコピー/貼り付け

1つのバンドをコピー/貼り付けするには、以下の手順を実行します。

- 1つまたは複数のチャンネルを選択します。共通のバンドまたはすべてのバンドのいずれかを表示します。
- コピーするバンドのコンテキストメニューを表示します(前述の項の手順7を参照)。  / 「Copy」を押します。
- 他の機器および/またはチャンネルを選択します。
- 貼り付け先のバンド(または必要に応じて新規バンドを作成)のコンテキストメニューを表示します。  / 「Paste」を押します。
- ツールバーの  (画面の右上)をタップして、コピーしたバンドの複製を追加することもできます。macOSのみ: 表示されているEQ上でグラフを右クリックし、「Paste」を選択するとバンドを貼り付けることができます。

EQ全体をコピー/貼り付けするには、以下の手順を実行します。

1. グラフの右下角にある対応するボタンを押して、コピーするEQを強調表示します。
2. ツールバーの  (コピー)を押して、リストからコピーするEQを選択します。macOSのみ: 右クリックして「Copy the displayed EQ(s)」を選択することもできます。
3. 他の機器および/またはチャンネルを選択します。
1. ツールバーの  (貼り付け)を押して、表示されているEQをコピーしたEQに置き換えるか、表示されているEQにコピーしたバンドを追加するかを選択します。macOSのみ: 右クリックして「Paste on the displayed EQ(s)」を選択することもできます。

## バンドのオン/オフの設定

表示されているEQのオン/オフを設定するには、左上のボタンを押します。EQのカーブはオフのときは赤色、オンのときは青色になります。

1 つのバンドのオン/オフを設定するには、コンテキストメニューを表示(「バンドの編集」の項の手順 7 を参照)して、「ON/OFF」ボタンを押します。バンドリストで、バンドのプレビューアイコンの「ON/OFF」ボタンを押すこともできます。バンドのプレビューアイコンはオフのときは赤色、オンのときは青色になります(丸数字を選択しているときは、丸数字も同様)。

チャンネル EQ のオン/オフステータスとバンドのオン/オフステータスに相関性はありません。そのため、オンになっているチャンネル EQ にオフの EQ バンドが含まれ、オフになっているチャンネル EQ に、オンの EQ バンドが含まれることがあります。

## EQ ライブラリ

あとから再利用できるように、EQ を NEXO NeMo に保存しておくことができます。

### EQ ライブラリへの EQ の保存

1. EQのサムネイルを押してから虫めがねアイコン  を押し、EQ編集ビューを開きます。
2. iOSのみ:  を押してEQをコピーします(必要に応じて、コピーするEQをリストから選択します)。  
macOSのみ: 右下角にある対応するボタンを押して、コピーするEQを強調表示します。次に、右クリックして「Copy displayed EQ」を選択します。
3.  を押してEQライブラリを開きます。そこで  を押します。macOS: [Cmd]+[V]を押すか右クリックして「Paste」を押しても構いません。iOS: 「+」を押すこともできます(EQライブラリが空の場合はこの動作が必要です)。
4. EQライブラリでEQが選択されていた場合は、コピーしたEQを新しいEQとしてライブラリに追加するか、コピーしたEQに一致するように選択したEQを更新するかを選ぶことができます。
5. ライブラリでEQの名前を変更できます。iOS: EQを選択し、ライブラリの下部で名前を押します。macOS: サムネイルリストでEQの名前をダブルクリックします。



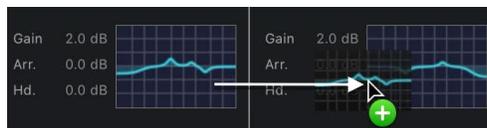
**備考:** EQ ライブラリは NXAMP や NEXO 機器ではなく、Mac または iOS デバイスに保存されます。

### ライブラリから EQ を呼び出す

1. EQ ライブラリを開きます(上記を参照、または「Window」>「EQ Library」を選択するか [Cmd]+[Shit]+[E]を押します(macOS))。
2. 保存されたEQの中から呼び出すEQを押します。
3.  ([Cmd]+[C])を押します。
4. EQビューに戻り(上記を参照)、 ([Cmd]+[V])を押します。
5. EQがすでに存在する場合、ライブラリからコピーしたEQで置き換えるか、ライブラリEQのバンドを表示されたEQに追加するかを選択できます。

### ヒント: EQ のドラッグアンドドロップ(macOS のみ)

ライブラリ間またはチャンネル間で EQ をコピーアンドペーストする際は、ドラッグアンドドロップ(EQ のサムネイルまたは EQ のグラフをクリックして 1 秒そのまま保持し、別のサムネイルまたはグラフにドラッグ)します。



圧縮設定も、ドラッグアンドドロップでコピーアンドペーストできます(後述を参照)。

### EQ ライブラリの書き出し

EQ ライブラリは、書き出して別の NeMo で使用できます。これを行なうには、以下の手順を実行します。

1. EQライブラリを開きます(前述を参照)。
2. 「**Export...**」または  を押します。書き出したファイルには「.nxeq」という拡張子が付きます。iOSのみ: このドキュメントは、iTunesのファイル共有で書類として使用できます。

### EQ ライブラリの読み込み

(他の NeMo などから)EQ ライブラリを読み込むことができます。読み込まれた EQ は個々のライブラリ内で使用でき、チャンネル上で呼び出すことができます。

#### iOS ユーザーのみ

1. iOSデバイスをコンピューターに接続し、iTunesを開きます。
2. iOSデバイスの管理ページで「App」タブを開き、「ファイル共有」セクションでNEXO NeMoの行を押します。
3. 書類エリアに.nxeqファイルをドラッグします。
4. iOSデバイスでNEXO NeMoを開き、目的のEQ編集ビューを開きます。そこで  を押し、「+」を押してEQライブラリを開きます。「**Import...**」を押します。
5. 読み込む.nxeqファイルを選択します。次に、ライブラリのEQを読み込んだEQで置き換えるか、読み込んだEQを追加します。

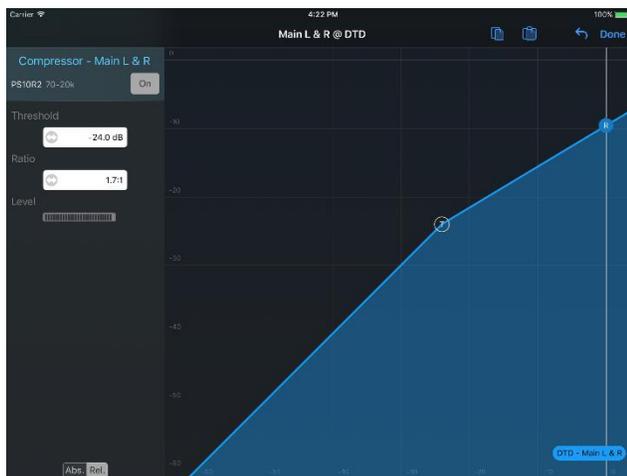
#### macOS ユーザーのみ

1. EQライブラリを開きます(前述を参照)。
2. 「**Import...**」を押して読み込む.nxeqファイルを選択します。
3. 読み込んだファイル内のEQをライブラリの現在のEQに追加するか、前のEQを削除するかを選択します。

EQ ライブラリを macOS 用 NeMo で作成し、iOS 用 NeMo に読み込むことができます(逆も可能)。

## コンプレッサーの編集(DTDのみ)

「Control」タブでコンプレッサーのプレビューを利用できます。サムネイルを押し、虫めがねアイコンを押すとコンプレッサーの編集ビューが表示されます。



スレッシュホールド(**T**)とレシオ(**R**)の丸いアイコンをドラッグしてコンプレッサーを編集します。

「ON」ボタンを押してコンプレッサーのオン/オフを設定します。カーブはそれぞれ青か赤になります。

圧縮レベルを表示できます。



ボタンとボタンを使用して、チャンネル間でコンプレッサー設定をコピーアンドペーストできます。

## シーンピッカー(macOSのみ)

グループモードで、機器バーの右側に表示されたシーン番号を押します。シーンピッカーがポップオーバーで表示されます。

シーンピッカーを使用できるのは、対応する(NXAMP)オンライン機器のみです。

シーンを読み込むと、選択した機器のシーンのリストが表示されます。選択した機器間でシーンの名前が異なる場合、シーン名は「Multiple」になります。

シーンを選択します。

そのシーンを呼び出すには「Recall」を押します。選択した機器のパラメーターには、そのシーンに保存された値が使用されます。この操作は取り消すことができません。このシーンが複数の場合、各機器にはそれぞれのシーンの値が使用されます。

そのシーンを削除するには「Delete」を押します。この操作は取り消すことができません。

そのシーンを保存するには「Save」を押します。これにより、そのシーンに以前保存されたデータが上書きされます。この操作は取り消すことができません。

選択したシーンにデータを貼り付けるには、[Cmd]+[C]を押すか「Edit」>「Copy」を選択してシーンをコピーし、別のシーンを選択して[Cmd]+[V]を押すか「Edit」>「Paste」を選択します。この操作は機器の値ではなく、そのシーンにのみ影響します。

## コピー/貼り付け

1 台の NXAMP のすべてのパラメーター(Inpatch、Overmute、Channel mute、Delay、Volume、Gain、Array EQ、Headroom、および Setup)をコピーして、1 台以上の NXAMP に貼り付けできます。

iOS ユーザーのみ:

1. 機器を選択します。
2. 「Control」タブで、 (コピー)をタップします。
3. コピー操作が完了したら、パラメーターを貼り付ける機器を選択します。
4. 「Control」タブで、 (貼り付け)をタップします。

Mac ユーザーのみ:

1. 機器またはチャンネルを選択します。
2. 「Control」タブで[Cmd]+[C]を押すか右クリックします。右クリックした場所によって、機器またはチャンネルの設定をコピーできます。
3. 他の機器またはチャンネルを選択します。
4. 「Control」タブで[Cmd]+[V]を押すか右クリックします。
5. モーダルシートが表示され、貼り付ける内容と、異なる値を持つ複数の機器またはチャンネルをコピーした場合には、貼り付ける値を持っている機器またはチャンネルを選択して確定します。
6. 確定します。

## 元に戻す/やり直し

すべての操作は元に戻したりやり直したりできます。元に戻す/やり直す操作では、その操作が実行されたチャンネルおよび機器の数も再現されます。

貼り付け操作(前述を参照)を元に戻すことができます。

元に戻す/やり直しは、別のタブにも使用できます。

iOS ユーザーのみ:

を押します。アクションシートが表示され、前の操作を元に戻すか、最後に元に戻した操作をやり直すかを選択できます。

macOS ユーザーのみ:

元に戻すには、[Cmd]+[Z]を押すか「Edit」>「Undo」を選択します。やり直すには、[Cmd]+[Shift]+[Z]を押すか「Edit」>「Redo」を選択します。

## すべてのリセット

NXAMP のすべてのパラメーター(Inpatch、Overmute、Channel mute、Delay、Volume、Gain、Array EQ、Headroom)をリセットするには、FLAT セットアップを呼び出します(後述を参

照)。

macOS ユーザーのみ:

選択した機器またはチャンネルで特定のパラメーターをリセットするには、 を押してリセットする項目を選択します。

**注意: ビューの更新**

特にスタンバイモードを終了した直後は、ビューのパラメーターが更新されるまでに少し時間がかかる場合があります。

## 「SETUP」タブ

iOS ユーザーのみ

「Setup」タブを開きます。

macOS ユーザーのみ

「Control」タブを開き、一番上のバーの中央にあるセットアップメニュー  を押します。

このタブでは、既存のセットアップ（「NEXO」という）を呼び出すか、チャンネルごとのセットアップ（「カスタム」という）を構築できます。

セットアップを呼び出す前に、コントロールしたい機器を正しく選択していることを確認してください。  
「重要: 選択した機器」の項を参照してください。

### ツールバーの表示(iPhone ユーザーのみ)

ツールバーを表示するには、「More」をタップします。

### セットアップライブラリの読み込み

セットアップライブラリは NXAMP から読み込まれます。この操作には数分かかります。1 ロードあたりにライブラリが 1 つあります。ロードのライブラリの読み込みが実行され、読み込み後、.nxload ファイルとして iOS デバイスまたは Mac に保存されます。選択した機器に異なるロードが存在する場合（たとえば、LOAD4\_01 と LOAD4\_10）、複数の読み込み操作が行なわれます。進捗バーに、これらの操作のステータスが表示されます。

読み込み操作が正常に完了しなかった場合にセットアップライブラリを再読み込みするには、スタート画面から「Preferences」メニューを表示し、ロードを選択して、再読み込みするロードの行を削除します。

NeMo には、ライブラリの読み込みを省略できるように、App のリリース時の最新のライブラリが含まれています。それらのライブラリを再読み込みすることはできません。

#### ヒント: インターネットからセットアップライブラリを読み込む

iOS デバイスまたは Mac がインターネットに接続されている場合は、セットアップライブラリをオンラインから取得することもできます。

詳細については「セットアップライブラリ」の項を参照してください。

### NEXO セットアップおよびカスタムセットアップ

スタンダードセットアップまたはカスタムセットアップのいずれかのビューを表示できます。ナビゲーションバーの「NEXO」または「Custom」をタップして、「Standard」ビューまたは「Custom」ビューを表示します。

### 現在のセットアップ

現在のセットアップとは、選択した機器でアクティブなセットアップです。

### 「NEXO」ビュー (NXAMP のみ)

現在のセットアップの行は青色で表示されます。現在のセットアップが異なる複数の機器を選択している場合、それらのセットアップの行がオレンジ色になります。

リスト内で現在のセットアップに移動するには、ツールバーの  をタップします。

現在のセットアップと同じファミリーに属するセットアップのみを表示するには、ツールバーの「**Same family**」をタップします。

現在のセットアップのいずれかがカスタムセットアップの場合、アラートが表示され「Custom」ビューに切り替えられます。

### 「Custom」ビュー

現在のキャビネットおよび各チャンネルのモードが、ビューの一番下に表示されます。カスタムセットアップが異なる複数のアンプを選択している場合、「Multiple」という値が表示されます。チャンネルがブリッジ接続されている場合、「Bridged」という値が表示されます。

ピッカー内で現在のカスタムセットアップに移動するには、ツールバーの  をタップします。

## NEXO セットアップの呼び出し

1. 「NEXO」ビューを開きます (前述を参照)。
2. 呼び出したいセットアップまで、リストをスクロールします。リストの右側にあるインデックスバーを使用できます。呼び出したいセットアップに最も近いインデックスをタップするか、そのインデックスまでインデックスバーをスクロールします (たとえば、セットアップ #176 の場合はインデックス170)。
3. 検索バーに名前の一部またはセットアップの番号を入力することもできます。
4. 行をタップしてセットアップを呼び出します。警告メッセージで確定する必要があります。セットアップが実際に呼び出されると、行が青色になります。

## カスタムセットアップの作成

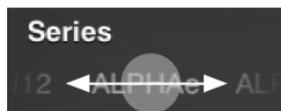
1. 「Custom」ビューを開きます (前述を参照)。

iPhone ユーザーのみ:

セットアップを変更したいチャンネルをタップして表示します。

すべてのユーザー:

2. ピッカー上でスワイプ (左右) するか、横にスクロールして、正しい「**Series**」を選択します。



3. 同様に正しい「**Cabinet**」を選択します。
4. 同様に正しい「**Cabinet mode**」(iPhoneの場合は「**Cab. mode**」)を選択します。
5. 同様に正しい「**Crossover mode**」(iPhoneの場合は「**XO mode**」)を選択します。

6. チャンネル1と2またはチャンネル3と4をブリッジ接続するには、 をタップします。
7. ピッカーの値が希望どおりになったら、「Set」をタップします。そのあと、「Set」をタップしたチャンネルのみでカスタムセットアップを呼び出すか、またはすべてのチャンネル用に選択したカスタムセットアップを呼び出せます。

ヒント:  (コピー) および  (貼り付け) をタップして、チャンネル間で「Series-Cabinet-Mode-XO」の設定をコピー/貼り付けできます。

## 複数の値

### 複数のロード

選択した機器のロードが異なり、その結果、異なるセットアップライブラリが含まれる場合があります。表示されたライブラリはすべてのライブラリの共通部分です(つまり、セットアップはすべてのロードに属する場合にのみ表示されます)。現在のロードは、ビューの一番下に表示されます。

### 複数の現在のセットアップ

選択した機器の現在のセットアップが異なる場合があります(たとえば、ある機器のセットアップは#1で、別の機器のセットアップは#46)。その場合、「Standard」ビューの現在のセットアップの選択行は緑色で表示されます。

カスタムセットアップが複数の場合、「Custom」ビューの一番下に「Multiple」と表示されます。

## 不明な値

現在のセットアップがカスタムセットアップの場合、「NEXO」ビューには表示されず、「Custom」ビューに切り替える必要があります。 をタップすると、警告メッセージが表示され、「Custom」ビューへの切り替えを促されます。

ライブラリの読み込み中にエラーが発生するか、現在のセットアップが現在のロードの共通部分に属さないためにカスタムセットアップの値が不明な場合、「Unknown」または「---」と表示されます。その場合、セットアップライブラリの再読み込みを試みます。

## 「SCENE」タブ

iOS ユーザーのみ

「Scene」タブをタップします。

macOS ユーザーのみ

「Control」タブを開き、右上角にあるシーンメニュー  を押します。

メインビューには、選択した機器のすべてのシーン(0~31)のリストが表示されます。シーンを使用すると、機器の設定および現在のセットアップを保存できます。空のシーンは名前が「--Empty--」になります。シーンがカスタムセットアップに関連付けられている場合、キャビネットおよびクロスオーバーモードがシーンの名前の横に表示されます。

**注意:** シーンは NeMo ではなく、NXAMP に直接保存されます。シーンは DTD では使用できません。

シーンを保存または呼び出す前に、コントロールしたい機器を正しく選択していることを確認してください。「**重要: 選択した機器**」の項を参照してください。

### シーンの読み込み

シーンのリストは、選択した機器から読み込まれます。操作は、セッションごとおよび機器ごとに行なわれます。進捗バーにステータスが表示されます。

選択した機器のシーンを再読み込みするには、 をタップします。

### 現在のシーン

選択したシーンの行は青色になります。シーンの番号が異なる複数のアンプを選択している場合、現在のシーンの行が緑色になります。リスト内で現在のシーンに移動するには、ツールバーの

 をタップします。

### シーンの保存

選択したすべての機器の設定および現在のセットアップ (**警告:** 設定および現在のセットアップは機器によって異なる場合があります) を保存するには、以下の手順を実行します。

1. 保存するシーンの行をタップします。**警告:** シーンを保存すると、同じ番号の既存のシーンのデータが消去されます。
2. シーン名のテキストフィールドをタップします。キーボードが表示されたら、希望の名前を入力して確定します。
3. 「Save」をタップしてシーンを保存するか、「Cancel」をタップします。

### シーンの呼び出し

選択したすべての機器のシーン (**警告:** 同じ番号のシーンは機器によって異なる場合があります) を呼び出すには、以下の手順を実行します。

1. 呼び出すシーンの行をタップします。
2. 「**Recall**」をタップしてシーンを呼び出すか、「**Cancel**」をタップします。

**備考:** Demo モードでは、シーンの保存および呼び出しを一部できない場合があります。

## 複数の値

選択したアンプ間で現在のシーン番号が異なる場合、現在のシーンの行がすべてオレンジ色になります。その後シーンを呼び出すと、現在のシーンが 1 つになり、青色で選択されます。

選択した機器のシーンが同じ番号で名前が異なる場合、表示名が「Multiple」になります。

選択した機器のシーンの番号が同じで、保存されているキャビネットが異なる場合、キャビネットの表示名が「Mult.」になります。

## コピー/貼り付け

1 台の機器のシーンを 1 つまたはすべてコピーして、1 台以上の機器に貼り付けできます。これを行なうには、NXAMP に LOAD3\_16 以上がインストールされていることを確認し、以下の手順を実行する必要があります。

### すべてのシーンのコピー/貼り付け

1. (セレクターなどから)機器を選択します。
2. 「Scene」タブで、 (コピー)をタップします。
3. コピー操作が完了したら、シーンを貼り付ける機器を選択します。
4. 「Scene」タブで、 (貼り付け)をタップします。これによって既存のシーンがすべて消去されるため、操作の確定を促す警告が表示されます。

### 1 つのシーンのコピー/貼り付け

1. (セレクターなどから)機器を選択します。
2. 「Scene」タブで、コピーするシーンの行をタップし、 (コピー)をタップします。
3. コピー操作が完了すると、シーンを貼り付ける機器を選択します(同じ機器の別の番号にシーンを貼り付けできます)。
4. 「Scene」タブで、 (貼り付け)をタップします。これによって、コピーしたシーンがコピー元と同じ番号に貼り付けられます。
5. または、「Scene」タブで、コピーしたシーンを貼り付ける行をタップし、 をタップします。

## 読み込み/書き出し

選択した機器のシーンを含むファイルを書き出しておいて、あとからそれらを同じ機器または別の対応機器に読み込むことができます。

### シーンの書き出し

1. セレクターで、書き出すシーンを含む機器を選択します。
2. 「Scene」タブを開きます。
3.  (macOS)または (iOS)を押したあと「**Export All Scenes**」を押し、ファイル名を選択します。シーンが完全に読み込まれると、選択した書き出し先 (macOS)またはiTunesのドキュメント共有セクション (iOS)で.nxscenesファイルを使用できるようになります。

### シーンの読み込み

1. セレクターで、シーンの読み込み先となる機器を選択します。
2. 「Scene」タブを開きます。
3. 読み込み先のシーンを押して選択します。
4.  (macOS)または (iOS)を押したあと「**Import Scenes**」を押し、読み込むシーンを含む.nxscenesファイルを選択します。
5. このファイルに含まれるシーンがリストされた新しいウィンドウが表示されます。読み込むシーンを選択して「**Import into Scene...**」を押します。すると、選択したシーンのデータが選択した機器の読み込み先シーンのスロットに読み込まれます(たとえば、機器Aのシーン4のデータを機器Bのシーン10に読み込むことができます)。

### シーンの読み込み

1. セレクターで、シーンの読み込み先となる機器を選択します。
2. 「Scene」タブを開きます。
3.  (macOS)または (iOS)を押したあと「**Import Scenes**」を押し、読み込むシーンを含む.nxscenesファイルを選択します。
4. このファイルに含まれるシーンがリストされた新しいウィンドウが表示されます。「**Import and Replace All Scenes**」を押しします。すると、このファイルに含まれる対応シーンがそれぞれの番号に読み込まれます(たとえば、ファイルにシーン4とシーン10が含まれている場合、それらは選択した機器のシーン4とシーン10に読み込まれます。この機器(1つまたは複数)の他のシーンに影響はありません)。

## シーンライブラリ

また、NEXO NeMo のライブラリにシーンを保存すれば、ファイルを個別に書き出さなくてもシーンを保存できます。その後、接続された機器で保存したシーンを呼び出したり、ファイルに書き出して別の NeMo (macOS 用または iOS 用) で使用したりできます。

### シーンライブラリを開く

#### macOS 用 NeMo

1. メニューバーで、「Window」>「Library」を選択するか、[Cmd]+[Shift]+[E]を押します。
2. 「Scenes」タブを開きます。

## iOS 用 NeMo および macOS 用 NeMo

1. オンラインの場合は、1つまたは複数の機器を選択して「Scene」タブを開きます。

2.  を押します。

## ライブラリにシーンを追加する

1. 1つまたは複数のシーンをコピーします(前述の「コピー/貼り付け」の項を参照)。

2. シーンライブラリを開き、 (iOS)を押すか、右クリックして「Paste」を選択するか、[Cmd]+[V](macOS)を押します。

## ライブラリからシーンを読み込む

1. シーンライブラリを開き、読み込むシーンを選択します。
2. セレクターで、1つまたは複数の機器を選択して「Scene」タブを開きます。

3. 読み込み先のシーンを選択して  を押します。

## ライブラリからシーンを書き出す/ライブラリにシーンを読み込む

別の Mac または iOS デバイスでライブラリを使用できるようにするには、ライブラリを.nxscenesファイルとして書き出し、別の機器に読み込みます。

## macOS 用 NeMo

1. シーンライブラリを開いて「**Export**」を押します。作成する.nxscenesファイルの名前と場所を選択します。このファイルには、NeMoのライブラリに含まれるすべてのシーンが含まれます。
2. 別のMac(またはiOSデバイス、後述を参照)で、シーンライブラリを開いて「**Import**」を押します。読み込む.nxscenesファイルを選択します。
3. 新しく開いたウィンドウで「**Add to Library**」を押します。

## iOS 用 NeMo

4. シーンライブラリを開いて  を押してから「**Export**」を押します。
5. iOSデバイスをコンピューターに接続し、iTunesで「ファイル共有」セクションを開きます。NEXO NeMoのドキュメントから.nxscenesファイルを選択し、「**Save to...**」を押します。
6. 別のiOSデバイスをコンピューターに接続し、iTunesの「ファイル共有」セクションで.nxscenesファイルをNEXO NeMoのドキュメントに追加します。
7. このiOSデバイスでNEXO NeMoを開き、シーンライブラリを開きます。
8.  を押してから「**Import**」を押し、読み込むファイルを選択します。

**ヒント: シーンのドラッグアンドドロップ(macOS のみ)**

シーンの読み込み/コピー/貼り付けはドラッグアンドドロップで簡単に行なえます。たとえば、「Control」タブでシーンライブラリのシーンを選択した機器のシーンのリストにドラッグすれば、そのシーンを読み込むことができます。反対に、リストからライブラリにシーンをドラッグすれば、そのシーンをライブラリに保存できます。

**シーンの削除**

シーンを削除するには、削除するシーンの行をタップし、 をタップします。操作の確定を求める警告が表示されます。この操作は元に戻せません。

## セッションの終了 (iOS のみ)

セッションを終了するには、タブバーの「**Disconnect**」をタップします。スタート画面が表示されず、セッションを閉じると、そのセッションの編集内容が自動的に保存されます。

macOS では、このセッションに関連付けられたすべてのウィンドウを閉じるか「File」>「Close session」を選択することでセッションを閉じることができます。セッションは自動的に保存されます。オフラインモードを使用できるため、セッションを終了しなくてもオフラインにできます。

## セッション

NeMo では、セッションのデータの保存および読み込みにファイル (拡張子は.nemo) が使用されます。



My Session.nemo

セッションには以下のものが含まれます。

- シーンを除くすべてのパラメーター値、デバイスのエイリアスおよびネットワークマップでの場所
- グループの名前、色、構成、順序、およびマップビューでの場所
- 背景画像
- 名前と説明

1 台の iOS デバイスまたは Mac を複数の構成で使用し、構成ごとに異なるセッションを開けます。また、1 台の iOS デバイスまたは Mac でセッションを作成し、別の iOS デバイスまたは Mac と共有すれば、複数のユーザーが同じセッションを使用することもできます (フロントオブハウスとモニターなど)。

1 つのセッションを複数の NeMo で共有している場合、1 つを変更しても別のデバイスには反映されません。

NeMo の使用中に開いたセッションは自動的に保存されます。

iOS のみ:

NeMo で作成したセッションは、iTunes の「ファイル共有」に表示されます。

macOS のみ:

選択したセッションを保存する、ハードドライブまたは iCloud Drive 上の場所を選択できます。

## 「Sessions」メニュー

iOS ユーザーのみ:

「Sessions」メニューを開くには、以下の手順を実行します。

1. スタート画面 (App の起動時または「**Disconnect**」を押したあとに表示されるビュー) に移

動します。

2. 「**Preferences**」をタップして、「Preferences」メニューを開きます。
3. 「**Sessions**」をタップします。

「**Sessions**」メニューに、NeMo の書類ディレクトリにあるすべてのセッションが表示されます。選択したセッションは、「**Config**」または「**Live**」を次回タップしたときに開かれます。

「Demo」セッションの行もあります。「**Demo**」セッションは、「Demo」をタップしたときに開かれます。

4. セッションの詳細を表示するには、 を押します。

macOS ユーザーのみ:

macOS では、開くウィンドウがすべてセッションに関連付けられ、その名前がウィンドウのタイトルになります。

同じセッション用に別のウィンドウを開くことができます（「Recap」タブと「Control」タブを表示したい場合など）。これを行なうには、セッションを開き（「File」>「Open…」または「File」>「New」）、「Window」>「New Window」を選択します。

異なるセッションを複数のウィンドウで同時に開くこともできますが、使用する機会はあまりありません。

表示されるウィンドウの「**Session**」メニューを開く方法

1.  を押してインスペクターを表示し、「Status」タブを選択します。
2. 「Session」セクションで  を押すと、セッションの詳細がポップオーバーとして表示されます。

## セッションの作成

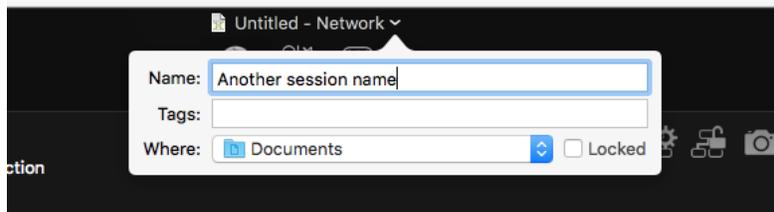
iOS ユーザーのみ:

デフォルトでは、1 つのセッションが作成されます。他のセッションを作成するには、以下の手順を実行します。

1. 「**Sessions**」メニューを開きます（前述を参照）。
2. 「+」をタップします。新しいセッションがリストに追加されます。

macOS ユーザーのみ:

1. 「File」>「New」を選択するか [Cmd]+[N] を押します。
2. 新しく作成したセッション用に新しいウィンドウが表示されます。作成したセッションに名前を付ける、またはセッションの場所を変更するには、ウィンドウのタイトルを押すか、[Cmd]+[S] を押します。



3. セッションは自動で保存されるため、すべての変更が反映されることに注意してください。
4. セッションを手動で保存するには、「File」>「Save」を選択するか、[Cmd]+[S]を押します。これにより、「File」>「Revert To」を選択することで手動保存時の状態に戻すことができます。
5. お使いのコンピュータでTime Machineが有効になっている場合は、セッションの以前のバージョンに戻すことができます。これを行なうには、「File」>「Revert To」を選択します。

## セッションの編集

セッションを編集するには、以下の手順を実行します。

1. セッションの詳細を表示します(前述を参照)。
2. 新しく表示されたビューで、セッションの名前および説明を編集できます。前回開いたときのセッションのプレビューに加えて、含まれているグループ、ゾーン、機器、および画像の数も確認できます。

## セッションの書き出し(iOSのみ)

セッションは複数の方法で書き出しできます。

### iTunes

1. iOSデバイスをコンピューターに接続します。iTunesから、iOSデバイスの管理メニューを開きます。「App」をクリックし、「ファイル共有」セクションで「NEXO Nemo」をクリックして書類ディレクトリを表示します。
2. 保存するセッション(.nemoファイル)をクリックして、「保存先...」をクリックします。

### メール、AirDrop、メッセージ

1. 「Sessions」メニューを開きます(前述を参照)。
2.  をタップし、書き出すセッションを選択して、「Share (xx)」をタップします(またはセッションの詳細ビューに移動して「Export」をタップします)。
3. 表示されたアクティビティシートで、選択したセッションの共有方法を選択します。該当の.nemoファイルが、Eメールまたはメッセージに添付されるか、AirDrop経由で送信されます。

### AVS-Monitor

1. 「Sessions」メニューを開きます(前述を参照)。

2.  をタップし、書き出すセッションを選択して、「**Share (xx)**」をタップします(またはセッションの詳細ビューに移動して「**Export**」をタップします)。
3. 表示されたアクティビティシートで、「AVS-Monitor」を選択します。
4. iOSデバイスをコンピューターに接続します。iTunesから、iOSデバイスの管理メニューを開きます。「**App**」をクリックし、「**ファイル共有**」セクションで「**NEXO Nemo**」をクリックして書類ディレクトリを表示します。
5. 書き出したセッション名のAVS-Monitorファイル(.cfg)をクリックして、「**保存先...**」をクリックします。
6. AVS-Monitorで、「File」>「Load...」を選択し、開く.cfgファイルを選択します。読み込むエイリアスおよび/またはグループを選択できます。

## セッションの書き出し(macOSのみ)

セッションは標準的なファイルであるため、Finder を使用して以下のようなさまざまな方法で共有できます。

- コピーアンドペースト
- NeMoで「File」>「Duplicate」を選択するか、[Cmd]+[Shift]+[S]を押して複製
- メール、iMessage、Skypeの会話などに添付
- AirDropを使用して別のMacまたはiOSデバイスと共有(セッションはmacOSとiOSの間で互換性があります)
- iCloud Drive、DropBoxなどに保存

## AVS-Monitor

1. 「File」>「Export」>「AVS-Monitor」を選択するか、[Cmd]+[E]を押します。
2. .cfgファイルを任意の場所に保存します。
3. AVS-Monitorから「File」>「Load...」を選択し、開く.cfgファイルを選択します(場合によっては、Windowsで使用できるようにファイルを移動する必要があります)。読み込むエイリアスおよび/またはグループを選択できます。

## セッションの読み込み(iOSのみ)

セッションは複数の方法で読み込みできます。

### iTunes

1. iOSデバイスをコンピューターに接続します。iTunesから、iOSデバイスの管理メニューを開きます。「**App**」をクリックし、「**ファイル共有**」セクションで「**NEXO Nemo**」をクリックして書類ディレクトリを表示します。
2. 「**ファイルを追加...**」をクリックするか、読み込むセッション(.nemoファイル)をドラッグします。
3. iOSデバイスで、「**Sessions**」メニューを開きます(前述を参照)。セッションリストに、読み込んだセッションが含まれています。
4. 開くセッションを選択します。

## iOS デバイスのその他の App

1. iOSデバイスの他のApp(DropBox、メール、メッセージなど)に.nemoファイルが含まれている場合、それをタップすると、NeMoで開くかどうかを求められます。
2. NeMoを開き、「**Sessions**」メニューを開きます(前述を参照)。セッションリストに、読み込んだセッションが含まれています。
3. 開くセッションを選択します。

## AVS-Monitor

1. AVS-Monitorで、「File」>「Save as...」を選択して、.cfgファイルを保存します。
2. iOSデバイスをコンピューターに接続します。iTunesから、iOSデバイスの管理メニューを開きます。「**App**」をクリックし、「**ファイル共有**」セクションで「**NEXO Nemo**」をクリックして書類ディレクトリを表示します。
3. 「**ファイルを追加...**」をクリックして、.cfgファイルを選択します。
4. NeMoで「**Sessions**」メニューを開き(前述を参照)、「**Import**」をタップして、読み込む.cfgファイルを選択します。セッションリストに、読み込んだセッションが含まれています。
5. 開くセッションを選択します。

## セッションの読み込み(macOS のみ)

セッションを開くには、以下の手順を実行します。

- Finderで.nemoファイルをダブルクリックします。
- NeMoで、「File」>「Open」を選択するか[Cmd]+[O]を押します。
- (Dockまたはアプリケーションディレクトリにある)NeMoアプリケーションのアイコンに.nemoファイルをドラッグします。

## AVS-Monitor

1. 上記3つのいずれかの方法で.cfgファイルを開くか、「File」>「Import」を選択するか、[Cmd]+[I]を押します。
2. AVS-Monitorドキュメント内で検出された機器およびグループが作成されます。ただし、機器はデフォルトでは「unknown products」となっています。
3. セレクターまたは「Network」タブから機器を順次選択します。
4. 機器を右クリックして「Products」を選択します。表示される製品リストの中から適切な製品(NXAMPなど)を選択します。

## セッションの削除

iOS ユーザーのみ:

1. 「**Sessions**」メニューを開きます(前述を参照)。
2.  をタップし、削除するセッションを選択して、「**Clear (xx)**」をタップします(またはセッションの詳細ビューに移動して「**Delete**」をタップします)。

3. この操作は元に戻せないため、操作の確定を求められます

macOS ユーザーのみ:

1. セッションのすべてのウィンドウを閉じます(「File」>「Close session」を選択するか、[Cmd]+[Opt]+[W]を押す)。
2. Finderで.nemoファイルを削除します([Cmd]+[Del]を押すか、右クリックして「Move to Trash」を選択)。

## その他の保存データ

### 環境設定

NeMo にはカスタマイズの方法が数多く用意されており、それらの設定を環境設定に保存できません。

環境設定を開くには、以下の手順を実行します(iOSのみ)。

1. スタート画面(Appの起動時または「**Disconnect**」のタップ後に表示されるビュー)に移動します。
2. 「**Preferences**」をタップして、「Preferences」メニューを開きます。

環境設定を開くには、以下の手順を実行します(Macのみ)。

「NEXO Nemo」>「Preferences…」を選択するか、[Cmd]+[,]を押します。

### セットアップライブラリ

NeMo では、NXAMP から読み込まれたセットアップライブラリ(ロード)が、.nxload ファイルに自動的に保存されます。

デフォルトでは、最新のロードの.nxload ファイルが含まれます。

新しいセットアップライブラリが NEXO からリリースされると、NeMo はインターネットからそのライブラリをダウンロードできます。

#### 警告: セットアップライブラリファイル

.nxload ファイルには、NEXO 機器のロードに含まれるすべてのセットアップのリストが含まれます。ただし、NXWin/Dory から開いて NEXO 機器にロードできるファームウェア(.nxf または.dld)は含まれません。

#### 「Loads」メニュー

「Loads」メニューを開くには、以下の手順を実行します。

3. 「Preferences」を開きます(「環境設定」の項を参照)。
4. 「**Loads**」を押します。新しく表示されたビューには、1つめのセクションにNXAMPから読み込まれているライブラリ、2つめのセクションにNeMoに含まれているライブラリが表示されます

## 最新のセットアップライブラリのダウンロード

iOS ユーザーのみ:

1. iOSデバイスからインターネットにアクセスできることを確認します。
2. 「Loads」メニューを開きます(前述を参照)。
3. 「**Get Latest Setups Library**」を押します。

macOS ユーザーのみ:

1. Macからインターネットにアクセスできることを確認します。
2. 「**Loads**」メニューを開きます(前述を参照)。
3. 「**Check now**」を押して最新のセットアップライブラリをダウンロードします。
4. 「**Automatically check...**」チェックボックスをオンにすることもできます。こうすることで、最新のセットアップライブラリが自動的にダウンロードされるようになります(NeMoの実行時にMacが常にインターネットにアクセスできる場合のみ)。

## セットアップライブラリの再読み込み

ライブラリを再読み込みするには、以下の手順を実行します。

1. オフラインにします。
2. iOSのみ: 「**Loads**」メニューで  をタップし、再読み込みするライブラリを選択して「**Clear (xx)**」をタップします(または再読み込みするロードの行を左にスワイプして「**Delete**」をタップします)。  
macOSのみ: 再読み込みするセットアップライブラリ(通常は「incomplete」と表示されたライブラリ)を選択して「**Remove...**」を押します。
3. オンラインにします。そうすることでセットアップライブラリが再度読み込まれます。

## セットアップライブラリの共有(iOSのみ)

1 台の iOS デバイスでセットアップライブラリを読み込み、.nxload ファイルを共有すると、複数の NeMo で同じセットアップライブラリを読み込むのを回避できます。

iTunes を使用:

1. 1台めのiOSデバイスをコンピューターに接続します。iTunesから、iOSデバイスの管理メニューを開きます。「**App**」をクリックし、「**ファイル共有**」セクションで「**NEXO Nemo**」をクリックして書類ディレクトリを表示します。
2. 保存するセットアップライブラリ(.nxloadファイル)をクリックして、「**保存先...**」をクリックします。
3. 2台めのiOSデバイスをコンピューターに接続します。iTunesから、iOSデバイスの管理メニューを開きます。「**App**」をクリックし、「**ファイル共有**」セクションで「**NEXO Nemo**」をクリックして書類ディレクトリを表示します。
4. 「**ファイルを追加...**」をクリックするか、保存済みの.nxloadファイルをドラッグします。
5. 2台めのiOSデバイスでNeMoを開きます。「**Loads**」メニューに、読み込んだセットアップライ

ブラリが含まれます。

メール、メッセージ、または AirDrop を使用:

1. 1台めのiOSデバイスで「**Loads**」メニューを開きます。
2.  をタップし、書き出すロードを選択して、「**Share (xx)**」をタップします。
3. 表示されたアクティビティシートで、選択したロードの共有方法を選択します。該当の.nxloadファイルが、Eメールまたはメッセージに添付されるか、AirDrop経由で送信されます。
4. .nxloadファイルが2台めのiOSデバイスで受信されると、NeMoで開くように求められます。
5. NeMoの「**Loads**」メニューに、読み込んだロードが含まれます。

### セットアップライブラリの共有 (macOS のみ)

1 台の iOS デバイスでセットアップライブラリを読み込み、.nxload ファイルを共有すると、複数の NeMo で同じセットアップライブラリを読み込むのを回避できます。

1. 「Preferences」の「Loads」メニューを開きます。
2. 共有するライブラリを選択し、「**Export...**」を押して.nxloadファイルを保存します。
3. Finder、メール、メッセージ、AirDropなどを使用して、.nxloadファイルを別のMacまたはiOSデバイスと共有します。
4. 別のNeMoで、「Preferences」の「Loads」メニューを開きます。
5. 「**Add...**」を押し、書き出した.nxloadファイルを選択します。含まれているロードのリストに表示されます。

## AVS-Service の設定

NeMo では、スタート画面で入力した、AVS-Service で使用されているネットワークアダプターの IP が自動的に保存されます。

AVS-Service がパスワードで保護されている場合、ログイン ID は記憶されますが、パスワードは記憶されません。パスワードを記憶させるには、以下の手順を実行します。

1. 「Preferences」を開き(「環境設定」の項を参照)、「Security」セクションを表示します。
2. ログインIDとパスワードを入力します。これらのテキストフィールドを空にすると、パスワードの記憶が解除されます。

## ネットワークの更新

NeMo がオンラインの間、機器を自由につないだり外したりできます。

機器をつないだり外したりしてから、その機器がコントロール可能になるか表示が消えるまでに、遅延がある場合があります。また、機器の取り外し直後は、コントロール速度が低下する場合があります。

### AVS-Service のみ:

App が AVS-Service に最初に接続するか、「Disconnect」を押したあと「Connect」をもう一度押すとネットワークのリセットが実行されます (AVS-Monitor の左上角にある緑色のボタンと同じ機能です)。

### iOS ユーザーのみ:

強制的に機器を検出するには、セレクトターを開き(「セレクトター」の項を参照)、テーブルビューをプルダウンします。

### macOS ユーザーのみ:

強制的に機器を検出するには、インスペクター  の「Status」タブを開き、「Status」セクションで AVS-Service への接続または切断を行なうか、「Enable direct control」チェックボックスをオンまたはオフにします。

## セキュリティ

NeMo のセキュリティを保護するための方法が 4 つあります。

- ✓ Wi-Fi ネットワークのセキュリティ(WPA2-Personal 推奨)
- ✓ ローカルネットワークのセキュリティ(スイッチまたはルーターの MAC および IP フィルタリング)
- ✓ AVS-Service のセキュリティ(AVS-Control Panel の「Security」を開き、ユーザーを作成します。ユーザーには異なる権限レベルが付与されます。「Viewer」は NeMo に変更を加える権限がありません。)
- ✓ NeMo の Live モード(インターフェースのコントロールオブジェクトの使用権限レベルを変更します。)

### Live モードへの切り替え

Live モード(NeMo のセーフモード)に切り替えるには、以下のいずれかを行ないます。

- セッションを開く前に、スタート画面で「**Live**」をタップします(iOS のみ)。
- セッションが開いている間に、メインビューの  を 2 秒以上長押しして Live モードに切り替えます。次に  を 2 秒以上長押しすると、Config モードに戻ります。

AVS-Service がパスワードで保護され、Viewer でログインしている場合、Live モードからは切り替えできません。

### Live モードの設定

Live モードを設定するには、以下の手順を実行します。

1. 「Preferences」を開き(「環境設定」の項を参照)、「Security」セクションを表示します。
2. 「**Configure Live Mode>**」を押します(iOSのみ)。
3. コントロールのタイプ(ミュート/ソロ、「Control」タブ、「Setup」タブ、「Scene」タブ、元に戻す/やり直し)ごとに、セキュリティレベルを選択します。その他のパラメーターは「**Advanced**」で確認してください。

<b>No security</b>	Config モードのセキュリティレベルです。すべての変更が許可されます。
<b>Ask for confirmation</b>	変更しようとするたびに、警告メッセージが表示されます。確定後、変更がコントロール対象の NEXO 機器に送られます。
<b>Disable changes</b>	変更は許可されません。ボタンやスライダーなどは無効になります。

## ログ、アラート、およびタスク

NeMo では、NEXO 機器で発生する可能性があるアラート(ピークアラートなど)や NeMo から 1 台または複数台の NEXO 機器へ行なわれている書き込みタスク(新しいゲイン値の書き込みなど)、または他のネットワークアクティビティに対して警告が出されます。また、機器のすべての指定パラメーターがログに記録され、あとで表示または書き出しできます。

アラートのタイプを以下に示します。

ログ	大量のデータが内部データベースに記録され、あとで表示および書き出しできます。
シンプルなアラート	アラートは、「Alerts & Tasks」メニューにオレンジ色の背景で表示されます。
レッドアラート	レッドアラートはポップアップで表示されます。このアラートは詳細に設定できます。機器のパラメーター(Amp temperature など)の値が指定の範囲に入り、指定の時間が経過した場合に表示されます。

## ログ

ログは **Log Record** に記録されます。Log Record は、ライブごとなど、必要な数だけ作成できます。記録を開始する前に、記録先の Log Record を選択する必要があります。

付録 A に、Log Record に値が記録されるパラメーターのリストを示します。各パラメーターについて、観測値の最大、最小、および平均が 1 分ごとに記録されます。

### ログの表示

NEXO 機器から Log Record に記録された値は、記録中かどうかに関わらず、またオンラインでもオフラインでも表示できます。ログを表示、設定、および記録するには、以下の手順を実行します。

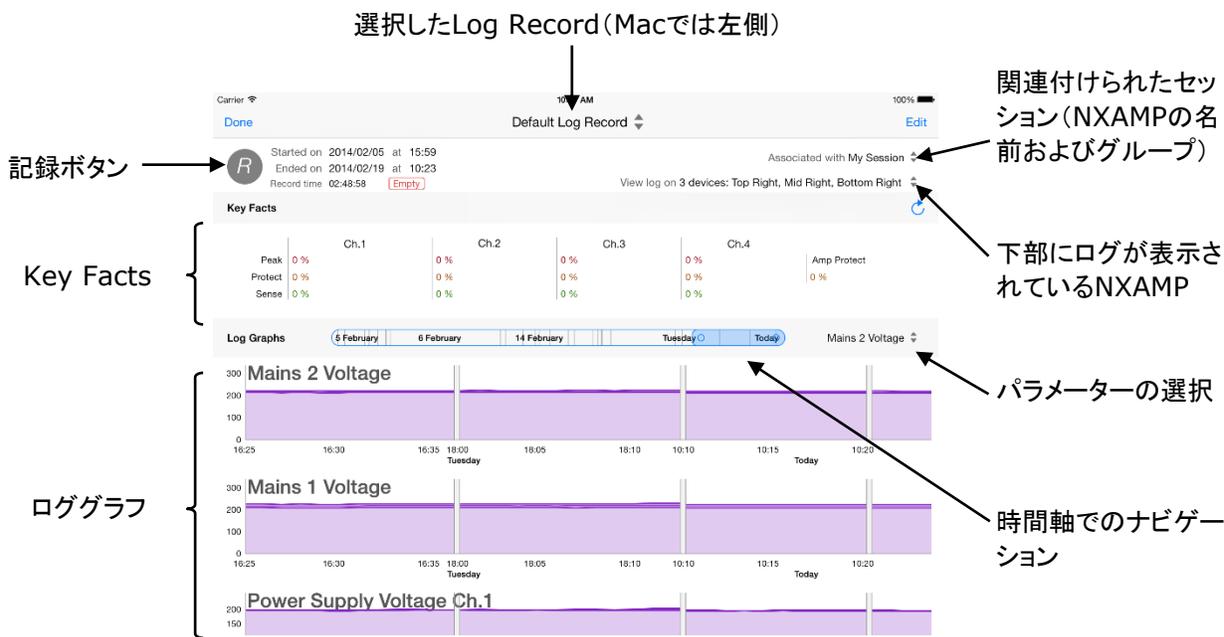
iOS ユーザーのみ:

- 「Preferences」を開き(「環境設定」の項を参照)、「Alerts and Log」セクションの「View Log」をタップします。
- または、セッションが開いている間に、「Network」タブのメインメニューの左下角にある  (または記録中は  )をタップします。

Mac ユーザーのみ:

- インспекター  を開き、「Log」セクションで  を押して「Show」を選択します。
- または、メニューバーで「Show」>「View Log」を選択するか [Cmd]+[Opt]+[R]を押します。

ログビューが表示されます。



## Log Record の作成および選択

- 「Log Records」リストを開くには、以下の手順を実行します。
  - iOSユーザーのみ: ログビューで、選択したLog Recordがタイトルに示されます。タイトルをタップして、「Log Records」リストを開きます。
  - macOSユーザーのみ: 「Log Records」リストは「Log」ウィンドウの左側にあります。
- 「+」をタップして新しいLog Recordを作成するか、ログを記録するLog Recordの行を選択します。

## ログの記録

ログを記録するには、ログビューを開き、Log Record を選択して、 をタップします。パラメーター値の記録が開始されます。ログビューのヘッダーに、開始日と終了日 (記録中でない場合のみ)、および選択した Log Record の実際の記録時間が表示されます。

記録中は、記録ボタンが  になり、また「Network」タブの「Log」ボタン (iOS のみ) が  になります。

## Key Facts

「Key Facts」には、時間範囲での既定のパラメーター値 (Channel protect、Peak Limiter、Sense、Amp protect など) の発生率が、パーセントで表示されます。たとえば、「Ch.1」の「Protect」が 3% の場合、チャンネル 1 のプロテクトが時間範囲で平均 3%発生したことを意味します。

データベースでの計算はリソース消費が大きいため、「Key Facts」はリアルタイムで更新されません。ただし、 をタップすると、更新できます。

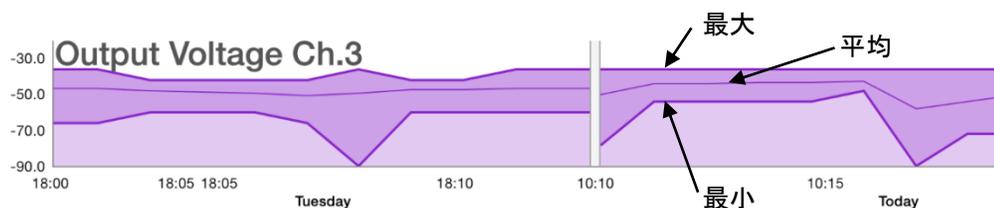
Mac ユーザーのみ:

表示するキーファクトをカスタマイズできます。これを行なうには、以下の手順を実行します。

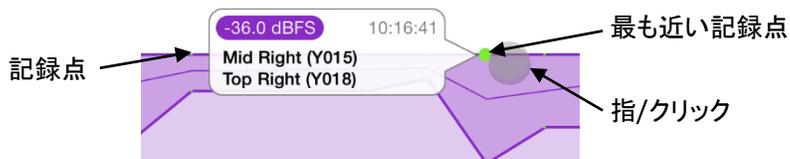
1.  を押します。
2. 「Key Facts」セクションに表示するパラメーターを選択します。
3. 表示するヒストグラムの数を選択します。パラメーターを5つ選択し、ヒストグラムを3つしか選択しなかった場合、最後の2つのパラメーターには平均値のみが表示されます。パラメーターにヒストグラムがある場合、アイコン  はヒストグラムと同じ色で表示され、それ以外の場合は灰色で表示されます。

## ロググラフ

ロググラフは、パラメーターおよびチャンネル番号(該当する場合)を示します。横軸は時間、縦軸はパラメーターの値です。縦軸の表示倍率は、表示されている時間間隔での実測値に応じて調整されます。

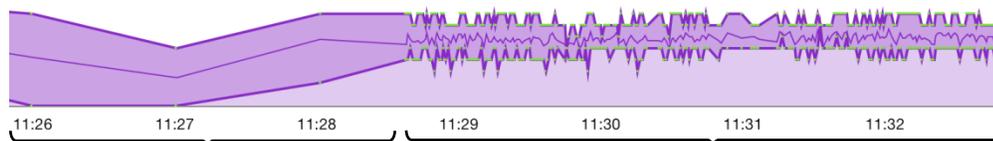


各グラフには、最大、最小、平均(細い線)に1本ずつの3本のカーブが描かれます。カーブの途中にあるグレーの短いスペースは、ログが記録されていない時間を表わします(たとえば、上記の図では、火曜日の 18:15 から今日の 10:10 までログが記録されていません)。



カーブの近くに指を載せるか、カーブの近くをクリックします。記録点が別の色で表示され、指/マウスマウスカーソルに最も近い点についての詳細がバブル表示されます。詳細には、値、日時、およびそれを検出した NEXO 機器の名前が含まれます。スライドすると、別の点についての詳細を表示できます。

記録の間隔は以下のとおりです。



直近 5 分間より前: 1 分ごとの最大、最小、および平均が Log Record に保存されます。

直近 5 分間: 1 秒ごとの最大、最小、および平均が記録されます。

## 時間軸でのナビゲーション

すべての記録点を最初から最後までスクロールするには、「Log Graph」セクションのヘッダーにある時間スライダーを左(古い)または右(最近)にドラッグします。時間スライダーに日にちが表示されません。

### iOS ユーザーのみ:

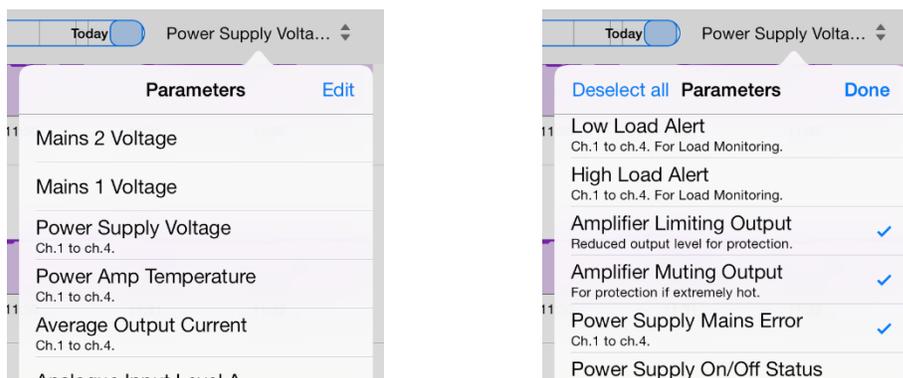
ズームインおよびズームアウトするには、画面に指を 2 本置き、近づけたり離したりします。数分から数日までを表示できます。

### Mac ユーザーのみ:

ズームインおよびズームアウトするには、時間スライダーの 2 つの小さい円のいずれかの中をクリックして左右に動かします。時間スライダーのカーソルが大きいほどズームは小さくなります。

## パラメーターの選択

すべてのロググラフから 1 つのパラメーターをすばやく表示したり、表示するロググラフを設定したりするには、時間スライダーの右にある「Reach Parameter」コントロールをタップします。



新しく表示されたメニューで、表示するロググラフの行を選択します。

「Edit」をタップすると、表示するロググラフを選択できます。

## Log Record のセッションへの関連付け

NeMo のセッションでは、Log Record に機器名、Dante ID、およびグループを表示する方法があります。デフォルトでは、Log Record は現在開いているセッションに関連付けられます。ただし、オフラインまたはオンラインで、別のセッションに関連付けることができます。



これを行なうには、「Associated with XXX」をタップし、新しく表示されるメニューでセッションを選択します。macOS のみ: このリストには最近のセッションだけが表示されるため、リストが空の場合もあります。セッションを参照するには「Other...」をクリックします。

そのあと、名前とグループが Log Record に渡され、セッションを削除または変更しても保持されます。関連付けられたセッションが現在開いているセッションの場合、ログビューが表示されるたびに名前およびグループは自動的に更新されます。

最初のセッションを削除して、そのセッションに関連付けられていた Log Record をあとで 2 つめのセッションに関連付けた場合は、1 つめのセッションの名前およびグループは失われます。

### 機器の選択

ログを表示する機器を選択するには、「View log on XXX」をタップして、新しく表示されたメニューで機器、グループ、またはゾーンを選択します。これらは Log Record が関連付けられているセッションのもので、

#### ヒント: 特定のパラメーターおよび機器のログ

少数の機器のみ、および少数のパラメーターのみのログを表示するように選択できます。ただし、この選択は表示および書き出しにのみ機能し、接続されているすべての NEXO 機器のすべてのパラメーター値が常時記録されます。あとで、選択しなかった機器またはパラメーターを選択すると、それらの履歴を確認できます。

### ログの書き出し

Log Record は書き出しできます(間隔は 1 分)。Log Record は 2 つの方法で書き出しできます。

<b>圧縮テキストファイル</b>	Excel で開いて高度な処理を行なえるプレーンテキストファイル(.txt)です。このテキストファイルはディスク領域を節約するために.zip ファイルに圧縮されます。このテキストファイルは UTF-8 でエンコードされ、1 行ごとに改行され、列はタブで区切られます。
<b>Log Record ファイル</b>	NeMo で開くことができる.nxlog ファイルです。Log Record を別の NeMo と共有するにはこの形式を使用します。Log Record を NEXO に送信する場合もこの形式を使用します。

テキストファイルは以下ようになります。

Device	Device 1								Device 2		
Parameter	Parameter 1				Parameter 2				...	Parameter 1	...
Date	Ch. 1	Ch. 2	Ch. 3	Ch. 4	...						
Date 1	Min	Max	Min	Max	Min	Max	Min	Max			
Date 2											
...											

再度書き出ししても、以前のログは消去されないことに注意してください(書き出し日がファイル名の接尾辞に付くため)。

Log Record を書き出すには、以下の手順を実行します。

### iOS ユーザーのみ:

1. 「**Log Records**」リストを開きます(前述を参照)。
2.  をタップし、書き出す Log Record を選択して、「**Share (xx)**」をタップします。
3. 表示されたアクティビティシートで、選択した Log Record の共有方法を選択します。該当のファイルが、「ファイル共有」に書き出されるか、Eメールまたはメッセージに添付されるか、AirDrop 経由で送信されます。
4. 「ファイル共有」を選択した場合、iOS デバイスをコンピューターに接続します。iTunes から、iOS デバイスの管理メニューを開きます。「**App**」をクリックし、「**ファイル共有**」セクションの「**NEXO Nemo**」の行をクリックします。
5. NeMo の書類のリストから、書き出した Log Record に対応する行をクリックして、「**保存先...**」をクリックします。

### Mac ユーザーのみ:

1. 「Log」ウィンドウの左側にある「Log Records」リストで、書き出す Log Record を選択します。
2. Log Record ビューの一番上で、「**Export...**」を押します。
3. Log Record をディスクに保存するか、NEXO に送信するかを選択します。2 つめのオプションを選択するとメーリングソフトウェアが開きます。
4. ディスクに保存する場合は、「**Format**」ポップアップボタンを押してテキストファイルとして保存するか Log Record ファイルとして保存するか(前述を参照)を選択します。名前を選択して「**Save**」を押します。

### Log Record のリセットおよび消去

Log Record のデータベースをリセットできます。Log Record のサイズが超過した(100 万行)直後にも、リセットするように求められます。

Log Record をリセットするには、以下の手順を実行します。

1. **ログビュー**を開き、リセットする Log Record を選択します。
2. 「**Empty**」をタップします。

Log Record を消去するには、以下の手順を実行します(iOS のみ)。

1. 「Log Records」メニューを開きます(「Preferences」メニューまたはログビューから、前述を参照)。
2.  をタップし、削除する Log Record を選択して「**Clear (xx)**」をタップします(または削除する Log Record の行を左にスワイプして「**Delete**」をタップします)。

Log Record を消去するには、以下の手順を実行します(Mac のみ)。

1. 「Log」ウィンドウの左側にある「Log Records」リストで、消去する Log Record を選択します。
2. 右クリックして「Remove...」を選択するか、バックスペースキーを押します。確定します。

## アラート、タスク、およびシステムステータス

iOS ユーザーのみ:

「**Events**」メニューにはすべてのアラートとタスクがリストされ、またシステムステータスの情報が表示されます。以下のボタンをタップすると「Events」メニューにアクセスできます。



または



これらのボタンはメインビューの左下角にあります(左のボタンは「Network」タブのみ)。

「Events」メニューでは、**アラート**はオレンジ色の行で表示され、**タスク**は青色の行でアニメーション表示されます。

Mac ユーザーのみ:

「**Tasks**」メニューにはすべての**タスク**に加え、接続されたデバイスの数に関する情報などが表示されます。このメニューを開くには、メインビューの一番下のバーの左側をクリックします。進行中のタスクがなく、NeMo がオンラインの場合は「Synchronized」と表示されます。注意: このテキストは一部の機器が応答していない場合やタスクが失敗した場合にも表示されます。これらの2つのイベントはアラートであり、「Alerts」メニューに表示されます。

「**Alerts**」メニューにはすべての**アラート**が表示されます。このメニューを開くには、メインビューの一番下のバーの右側をクリックします。

システムステータスに関するその他の情報は、インスペクター  の「Status」タブの「Status」セクションに表示されます。

<p><b>アラート</b></p>	<p>アラートは、接続や応答なし、機器の接続が切れるなど、ユーザーの注意が必要なシステム上で発生したイベントです。</p> <p>同じ種類のアラートはまとめてグループ化され、1行で表示される可能性があります。アラートが初めて表示される際は、行に青色のドットが付きます。「Events」/「Alerts」メニューのアイコンバッジ、および「Network」タブのアイコンバッジ(iOS のみ)に、最近のアラートの数が示されます。</p> <p>付録 <b>A</b> に、アラート対象の NEXO 機器のパラメーターのリストを示します。</p>
--------------------	--

<p><b>タスク</b></p>	<p>タスクは、実行中のユーザーによってトリガーされる場合が多いアクションです。</p> <p>たとえば、ミュートボタンを押すと、タスクが「Events」/「Tasks」メニューに示され、「Events」/「Tasks」メニューボタンのアクティビティインジケータがアニメーション表示されます。このとき、NeMo から新しいミュートステータスが NEXO 機器に送信され、NEXO 機器はコマンドを処理し、NeMo にフィードバックを送り、あとでタスクを終了させます。</p> <p>タスクの例を以下に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- セットアップおよびシーンの読み込み (iOS: アクティビティインジケータなし)</li> <li>- NEXO 機器との同期 (ページが表示され、NeMo が必要なすべてのパラメータ値を受け取っていない間)</li> <li>- ユーザー操作 (ミュート、ボリューム変更、セットアップの呼び出し、貼り付けなど)、および元に戻す/やり直し</li> <li>- ネットワークの更新</li> <li>- コピー/貼り付け</li> </ul>
<p><b>システムステータス</b></p>	<p>ここには、NeMo のステータス (オンラインかオフラインか、AVS-Service に接続しているか、ネットワークの更新中か) が表示されます。また接続品質 (良い、普通、悪い) も示されます。接続品質の評価は、Wi-Fi 接続、AVS-Service、および機器の応答に基づいて NeMo が計算します。</p> <p>接続品質が悪いと表示された場合、AVS-Service をオフ/オンしたり、Wi-Fi および有線ネットワークを確認したりしてください。機器の切断や、セットアップやシーンの呼び出しなどの操作によって、瞬間的にネットワークの品質が低下する可能性があります。</p>

### アラートファイル

すべてのアラートは、自動的にテキストファイルに保存されます。このファイルは表計算ソフトウェアまたはテキストエディターで開くことができます。ファイルは UTF-8 でエンコードされ、1 行ごとに改行され、列はタブで区切られます。以下はファイルの表示例です。

Start date	End date	MAC address	Device's alias	Motive
Date 1				
Date 2				
...				

アラートファイルにアクセスするには、以下の手順を実行します。

#### iOS ユーザーのみ:

1. iOSデバイスをコンピューターに接続します。iTunesから、iOSデバイスの管理メニューを開きます。「App」をクリックし、「ファイル共有」セクションで「NEXO Nemo」をクリックして書類ディレクトリを表示します。
2. NEXO\_Nemo-Alerts.txtをクリックし、「保存先...」をクリックします。

## Mac ユーザーのみ

「Alerts」メニューを開いて「**View file**」を押します。

## アラートのフィルタリング

アラートおよびタスクは、機器のエイリアス、MAC アドレス、Dante ID、グループ、ゾーン、発生理由、または日時でフィルターできます。フィルターには「Events」/「Alerts」メニューの一番上にある検索フィールドを使用します。

日時でフィルターするには、たとえば「17:」と入力します。17:00 から 17:59 の間に発生したアラートが表示されます。「17:15」と入力すると、17:15:00 から 17:15:59 の間に発生したアラートが表示されます。

## アラートの消去

アラートの消去には 2 つの方法があります。

- 「Events」/「Alerts」メニューで「**Clear...**」を押します。以下のアクションシートが表示されます。

<b>All alerts &amp; alert file</b>	アラートファイルの内容が消去され、「Events」メニューの内容がリセットされます。
<b>All alerts</b>	「Events」メニューの内容がリセットされます。アラートファイルは影響を受けません。
<b>Only solved alerts</b>	「End date」が null のアラートのみが「Events」メニューから削除されます。アラートファイルは影響を受けません。
<b>Only non-recent alerts</b>	青色のドットが付いていないアラートのみが「Alerts & Tasks」メニューから削除されます。アラートファイルは影響を受けません。

- 「Preferences」で以下の手順を実行します。

iOS の場合: 「**Alerts and log**」セクションで、「**Reset alerts**」の横にある「**Reset...**」をタップします。

Mac の場合: 「**Alerts**」タブを開き、「Alerts File」セクションで「**Reset...**」を押します。

確定を求める警告メッセージが表示されます。これによってアラートファイルの内容が消去され、「Events」/「Alerts」メニューの内容がリセットされます。

## アラートの設定

アラート対象のパラメーターを選択できます。

1. 「Preferences」を開きます（「環境設定」の項を参照）。
2. iOS の場合: 「**Alerts and log**」セクションの「**Configure alerts**」をタップします。  
Mac の場合: 「**Alerts**」タブを開きます。

- リストから、アラート対象にするパラメーターを選択します。パラメーターの選択を解除した場合、そのパラメーターのアラートは「Events」メニューおよびアラートファイルに含まれなくなります。

## レッドアラート

レッドアラートは、いくつかのトリガー条件を満たしたときにポップアップで表示されます。レッドアラートを作成および有効にするには、以下の手順を実行します。

- 「Preferences」を開きます（「環境設定」の項を参照）。
- iOSの場合：「Alerts and log」セクションの「Configure red alerts」をタップします。  
Macの場合：「Red Alerts」タブを開きます。
- レッドアラートをトリガーするパラメーターをチェックします。iOS： 特定のパラメーターのレッドアラートを初めて有効にする場合、レッドアラートの設定ビューが表示されます。それ以外の場合にレッドアラートの設定を更新するには、「Edit」をタップして、行をタップする必要があります。
- 必要に応じてレッドアラートを設定します。以下を設定する必要があります。

<b>Condition on value</b>	<p>パラメーター値が下限のスレッシュホールド(lower threshold)と上限のスレッシュホールド(upper threshold)の間に入った場合にレッドゾーンになります。</p> <p>下限のスレッシュホールドが上限のスレッシュホールドより大きい場合、パラメーター値が厳密にこの範囲の外側になった場合にレッドゾーンになります。</p>
<b>Condition on time</b>	<p>時間のスレッシュホールド(time threshold)が期間(time period)と同じ場合、時間のスレッシュホールドより長い時間連続でレッドゾーンになると、レッドアラートがトリガーされます。</p> <p>スレッシュホールドが期間より短い場合は、その期間内でレッドゾーンになった時間の合計が時間のスレッシュホールドを超えると、レッドアラートがトリガーされます。</p>
<b>Time before reminder</b>	アラートがトリガーされると、この時間の間は再度トリガーされません。

以下に例を示します。

下限のスレッシュホールド= 10、上限のスレッシュホールド= 20、時間のスレッシュホールド= 2 秒、期間 = 10 秒に設定したとします。10 秒間で 2 秒以上、値が 10 から 20 の間になった場合に、レッドアラートがトリガーされます。

下限のスレッシュホールド= 20、上限のスレッシュホールド= 10、時間のスレッシュホールド= 5 秒、期間 = 5 秒に設定したとします。連続で 5 秒を超えて、値が厳密に 10 未満または 10 超になった場合にレッドアラートがトリガーされます。

## エラーメッセージ

NeMo の使用中はさまざまなエラーが発生する可能性があります。その場合、警告メッセージが

表示され、複数のエラー解決策が提示されます。エラーの主な原因は、AVS-Service の一部が反応していない、機器が応答していない、または低品質な無線接続によるものです。

AVS-Service との通信に時間がかかっている場合、NeMo の再起動を試します。再起動後も接続できない場合は、AVS-Service の再起動を試してください。また、iOS デバイスで「DHCP リースを更新」をタップするか、Wi-Fi アクセスポイントの電源をオフ/オンします。

機器のコントロールに問題が発生している場合や、機器に接続できない場合、Wi-Fi 接続が不安定か、設定が最適でない可能性があります。このマニュアルの「**使用前の準備**」の項を参照してください。

### 応答なしの機器

NeMo を接続すると、NeMo は機器が応答していないかを判断し、応答していない場合は、他の機器のコントロールの障害にならないように自動的にその機器のコントロールを停止します。これはたとえば、機器が予想外にビジー状態になったり、NeMo の要求を無視したり、ダウンロードモードになったときに起こります。その場合、機器の問題を特定するか、ファームウェアを更新するか、または一度電源を切ってみます。

Direct Control を使用していて機器がこの機能に対応していない場合や、お使いの機器でこの機能に問題がある場合(この場合は電源のオフ/オンを試してください)も機器が「応答なし」と見なされます。

NeMo が指定の機器に特定のコマンドを送信できないと判断することがあります。その場合、警告メッセージが表示され、機器を「応答なし」に手動で変更できます。

機器が応答していない判断が正しくないと感じた場合、更新ボタン  を押して、NeMo に機器のコントロールを再試行させることができます。

### ヒント: 応答していない機器の自動更新

機器が応答していない場合、機器がまだ初期化中でリモートコントロールの準備が整っていない可能性があります。数秒後に「更新」すると、機器をコントロールする準備ができている場合があります。この問題を回避するために、NeMo には自動更新機能があり、応答していない機器の更新を定期的に試行します。

自動更新を有効にするには、以下の手順を実行します。

1. 「Preferences」を開きます(「**環境設定**」の項を参照)。
2. iOSの場合: 「**Auto-refresh**」をチェックします。
3. macOSの場合: 「**General**」タブで「**Automatically refresh not responding devices**」をチェックします。

## 付録 A: 使用可能な NEXO 機器のパラメーター

### NXAMP

名前	説明	Nemo でのコントロール場所	ログ	アラート
Load	NXAMP のファームウェアのバージョン。	「Network」および「Setup」タブ (読み取り専用)		
Inpatch(チャンネルごと)	アナログ(A~D)およびネットワーク(E~H)入力と、プロセッシングチャンネル(1~4)間のパッチング。	「Control」タブ		
Volume(チャンネルごと)	チャンネルのボリューム(dB)。	「Control」タブ		
Delay(チャンネルごと)	チャンネルのディレイ(ms、s、または ft)	「Control」タブ		
Gain(チャンネルごと)	チャンネルのゲイン(dB)。ゲインとボリュームの設定は同じになります。アンプは、デジタルまたはアナログのゲインを自動的に組み合わせて、ダイナミックレンジを最適化します。	「Control」タブ		
Array EQ(チャンネルごと)	現在のセットアップに応じてカットオフ周波数が固定された、ローシェルビングまたはハイシェルビングフィルターのゲイン(dB)。Array EQを使用して、グラウンドスタッキングまたはラインアレイの効果を補正できます。	「Control」タブ		
Headroom(チャンネルごと)	ゲインレンジの減少(dB)。アナログ/デジタル変換を強化し、それによってバックグラウンドノイズを改善して、歪みを低減します。多くの場合 0dB に設定されます。静かなサウンドにはヘッドルームを小さくします。その場合は、クリッピングに注意します。	「Control」タブ		
Cabinet(チャンネルごと)	チャンネルに関連付けられているキャビネットの名前。	「Control」タブ (読み取り専用)、 「Setup」タブ		
Setup number	現在のスタンダードセットアップ(キャビネットの組み合わせに調整されたプリセット)の番号。	「Setup」タブ(スタンダードパネル)		
Custom setup descriptors(チャンネルごと)	チャンネル(ブリッジ接続されている場合はチャンネルのペア)に関連付けられた、ラウドスピーカー用に調整されたシリーズ/キャビネット/キャビネットモード/クロスオーバーモードの設定。	「Setup」タブ(カスタムパネル)		
Scene number	最後に呼び出されたシーンの番号(シーンには、パッチング、ボリューム、ディレイ、セットアップなど、NXAMP の設定が保存されています)。	「Scene」タブ		
Stand-by	NXAMP のスタンバイモード。オンの場合、パワーアンプに使用される大型電源はオフになり、コントローラーは低電力モードになります。スタンバイモードを終了する以外のコントロールはできません。	「Control」タブ	✓	✓
Mute(チャンネルごと)	チャンネルのミュートステータス。	「Network」および「Control」タブ	✓	
Overmute/Global mute	4つのチャンネルのミュートステータス。Overmuteをオンにした場合、チャンネルのミュートステータスは保持されます。NeMo では、4つのチャンネルをミュートするとOvermuteがオンになります。	「Network」および「Control」タブ	✓	
Input level (analog)	アナログ入力(A~D)のアナログ/デジタルコンバーターの出力におけるピークレベル(dBFS)。最大レートは 25 Hz、精度は±3 dB です。	「Network」タブ(グループマップのみ)および「Control」タブ	✓	
Input level (network)	ネットワーク入力(E~H)のピークレベル(dBFS)。最大レートは 25 Hz、精度は±3 dB です。	「Network」タブ(グループマップのみ)および「Control」タブ	✓	
Output current(チャンネルごと)	チャンネルのピーク電流(dBFS、0 dBFS は電流センスコンバーターのクリップレベル)。最大レートは 25 Hz、精度は±3 dB です。null 以外の値は、チャンネルに負荷がかかっていることを示します。	「Network」タブ(グループマップのみ)および「Control」タブ(短縮形「A」を使用)	✓	

Output voltage(チャンネルごと)	チャンネルのピーク電圧(dBFS、0 dBFS は電圧センスコンバーターのクリップレベル)。最大レートは 25 Hz、精度は±3 dB です。null 以外の値は、出力に信号が送信されていることを示します。	「Network」タブ(グループマップのみ)および「Control」タブ(短縮形「V」を使用)	✓	
Mains 1 Voltage	NXAMP の背面にある MAINS 1 端子で測定された主電源の電圧(V) (NXAMP4x4 の場合、NXAMP4x1 では不使用)。		✓	
Mains 2 Voltage	NXAMP の背面にある MAINS 2 端子で測定された主電源の電圧(V) (NXAMP4x4 の場合、NXAMP4x1 では MAINS 端子)。		✓	
Power Supply Voltage(チャンネルごと)	電源供給パワーアンプのチャンネルの出力電圧(V)。		✓	
Power Amp Temperature(チャンネルごと)	アンプのチャンネルの温度(°C)。		✓	
Low and High Load Alert(チャンネルごと)	NXAMP のロードモニタリング機能(詳細についてはユーザーマニュアルを参照)と組み合わせて使用する必要があります。この機能を使用すると、高域のパイロトーンを NXAMP に送り、ロードのインピーダンスをモニタリングできます。チャンネルで測定されたインピーダンスがユーザー指定の範囲外になるか、NXAMP が出力インピーダンスを測定できない場合(パイロトーンを受信していない、チャンネルがミュートされているなど)、このアラートがトリガーされます。		✓	✓
Amplifier limiting output	アンプは、プロテクトのために出力レベルを下げる必要があります(温度が上昇しすぎた場合)。出力レベルは、パワーアンプのヒートシンクのいずれかが 70° C に達すると 3 dB 下げられ、80° C を超えるとさらに 3 dB 下げられます。		✓	✓
Amplifier muting output	アンプは、プロテクトのために出力をミュートする必要があります(ヒートシンクが 90° C を超える異常な温度になった場合、または DC 出力が検出された、電源の出力レベルが低いなど、チャンネルに問題が発生した場合、詳細についてはユーザーマニュアルを参照)。		✓	✓
Power Supply Overtemperature(チャンネルごと)	電源のヒートシンクの温度センサーで異常温度が検出されています。		✓	✓
Power Supply Mains Error(チャンネルごと)	主電源の電圧が範囲外です(NXAMP C バージョンでは 150V~288V、W バージョンでは 230V モードで開始、U バージョンでは 60V~150V、W バージョンでは 120V モードで開始)。		✓	✓
Power Supply On/Off Status(チャンネルごと)	電源がソフト起動を完了して準備状態になると「1」、それ以外の場合は「0」になります。		✓	
Power Supply Starting Status(チャンネルごと)	電源が起動すると(ソフト起動)「1」になります。		✓	
Power Supply Output Voltage Error(チャンネルごと)	電源の出力が範囲外です(10V~250V DC)。		✓	✓
Power Amp DC Output Alert(チャンネルごと)	指定のアンプのチャンネルの出力電圧値が 10V を超えています。		✓	✓
Power Amp Overtemperature(チャンネルごと)	パワーアンプの温度超過値(温度超過なし、>70° C (出力を 3dB 低下)、>80° C (出力を 6dB 低下)、>90° (出力をミュート))。		✓	✓
Peak Limiter(チャンネルごと)	アンプをプロテクトするためにチャンネルでピークリミッターが作動しています。	オレンジ色の LED(「Network」および「Control」タブ)	✓	✓

Protection(チャンネルごと)	スピーカーのプロテクト(変位または温度)。	オレンジ色の LED(「Network」および「Control」タブ)	✓	✓
Amp protect	アンプのプロテクトステータス。過熱、DC 出力、短絡などによる動作不良のためにプロテクトされている場合、1 つまたは複数の出力が低下またはミュートされます。LED インジケータの組み合わせおよび LCD ディスプレイの意味の詳細については、ユーザーマニュアルを参照してください。	オレンジ色の LED(「Network」および「Control」タブ)	✓	✓
Sense(チャンネルごと)	出力で特定のレベルの電流が検出されています(キャビネットが接続され、十分な信号が流れています)。	緑色の LED(「Network」タブ)		

上記のパラメーターの詳細については、NXAMP のユーザーマニュアルを参照してください。

## DTD

名前	説明	Nemo でのコントロール場所	ログ	アラート
ファームウェアバージョン	DTD のファームウェアのバージョン。	「Network」、「Control」、「Recap」、および「Setup」タブ(読み取り専用)		
Prepatch(プロセッシングごと)	アナログ、AES/EBU またはデジタル入力と L および R のプリプロセッシングチャンネルの間のパッチ。	「Control」タブ		
EQ(プロセッシングごと)	プリプロセッシング EQ。EQ はオン/オフできます。	「Control」タブ		
Inpatch(チャンネルごと)	L および R のプリプロセッシングチャンネルと Main R、Main L、Sub チャンネルの間のパッチ。「L+R」を選択すると、自動的に-6 dB のゲインが内部的に適用されます。	「Control」タブ		
Front Panel Gain	DTD のフロントパネルで設定されるゲイン(dB)。この値は NeMo では読み取り専用です。	「Control」タブ		
Gain(チャンネルごと)	チャンネルのゲイン(dB)。このゲインステップは Front Panel Gain に加算されます。	「Control」タブ		
Delay(チャンネルごと)	チャンネルのディレイ(ms、s、または ft)	「Control」タブ		
Cabinet(チャンネルごと)	チャンネルに関連付けられているキャビネットの名前。Main R と Main L のキャビネットは同じです。このセットアップモードはフロントパネルから設定できません(ワイドバンド、ユーザーまたはクロスオーバー)。ユーザーモードの場合、クロスオーバーは NeMo で変更できます。	「Control」タブ(読み取り専用)、「Setup」タブ		
Input level (analog)	アナログ入力のアナログ/デジタルコンバーターの出力におけるピークレベル(dBFS)。	「Network」タブおよび「Control」タブ	✓	
Input level (AES/EBU)	ステレオ AES/EBU 入力のピークレベル(dBFS)。	「Network」タブおよび「Control」タブ	✓	
Input level (digital)	USB または Dante デジタル入力のピークレベル(dBFS)。	「Network」タブおよび「Control」タブ		
Output level(チャンネルごと)	-60 dB~+ 0 dB での出力レベル。	「Network」タブおよび「Control」タブ	✓	
Compressor(チャンネルごと)	ユーザープロセッシングチャンネルのコンプレッサー。このコンプレッサーは NEXO の圧縮よりも優先されます。	「Control」タブ		
Compressor level(チャンネルごと)	0 dB~30 dB でのユーザー圧縮レベル。	「Network」タブおよび「Control」タブ	✓	
Lock	リモートコントロールのロックの有無。	「Control」タブ		

上記のパラメーターの詳細については、DTD のユーザーマニュアルを参照してください。

Appの不具合を発見した場合:[technical@nexo.fr](mailto:technical@nexo.fr)までご連絡ください。みなさまのご協力をお願いいたします。

NEXO SA は、機器、本ソフトウェア、および本マニュアルの不適切な使用により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

本ソフトウェアおよびマニュアルの排他的著作権は NEXO SA が保有しています。NEXO SA の書面による事前の許可なく、本ソフトウェアまたはマニュアルの内容の全部または一部を複製または複写することは禁止されています。

本マニュアルで使われているスクリーンショットは、言語やバージョンによって異なる場合があります。

Apple、Mac、iPod Touch、iPhone、および iPad は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。EtherSound および EtherSound ロゴは、Digigram S.A.の商標または登録商標です。Dante および Dante ロゴは、Audinate Pty Ltd.の商標です。Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。その他すべての商標は、各所有者に帰属します。

NEXO SA  
PARC D' ATIVITE DE LA DAME JEANNE  
F-60128 PLAILLY

Phone: +33 3 44 99 00 70

Fax: +33 3 44 99 00 30

Email: [info@nexo.fr](mailto:info@nexo.fr)

Web site: [www.nexo-sa.com](http://www.nexo-sa.com)